

事業計画及び成長可能性に関する事項

2024年5月

AIAI

AIAIグループ株式会社

証券コード：6557

1. 会社概要
2. ビジネスモデル
3. 市場環境
4. 競争力の源泉
5. 事業計画
6. リスク情報

1. 会社概要

AIAI

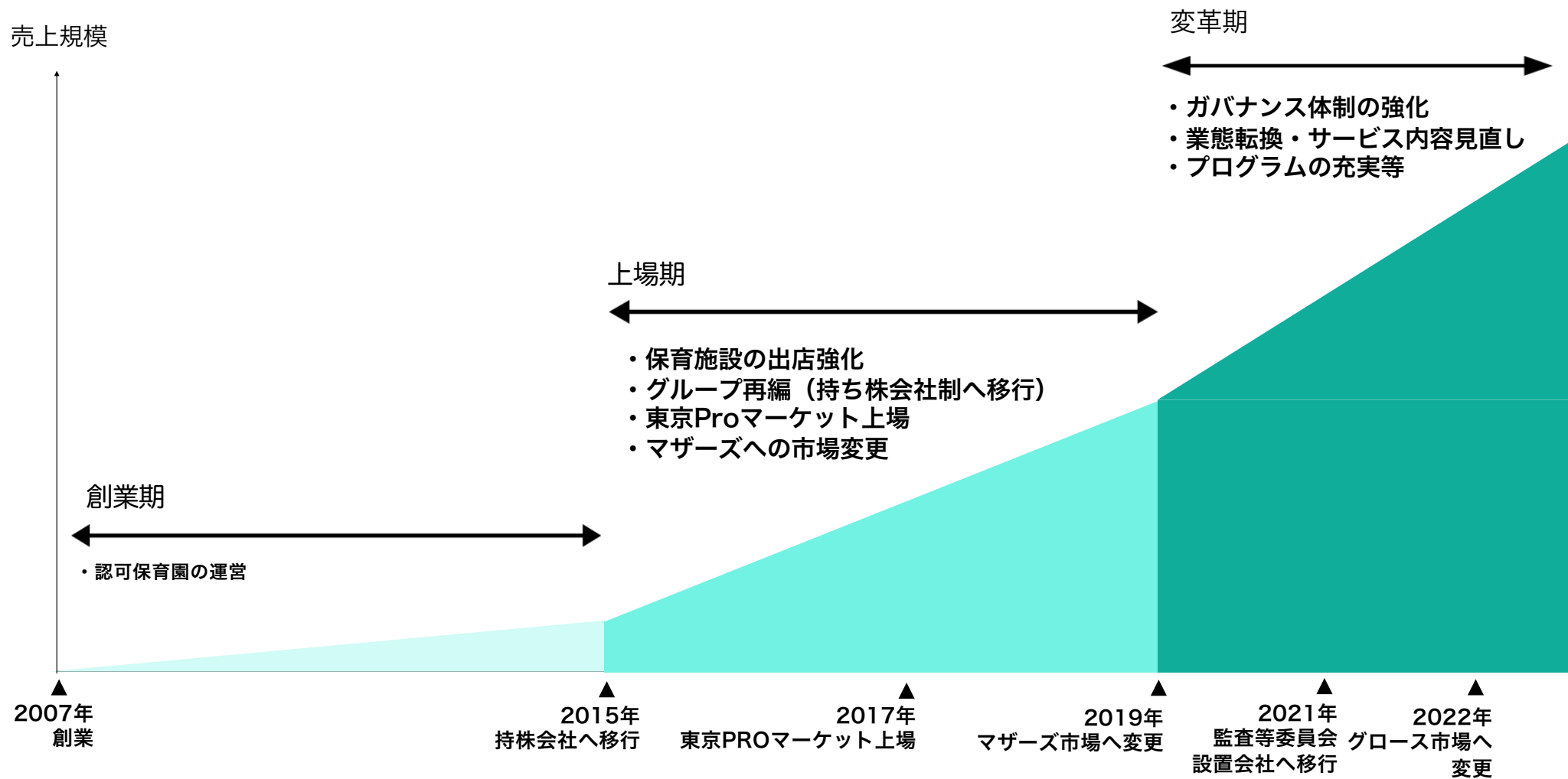
企業名	AIAIグループ株式会社
代表者	代表取締役社長兼CEO 貞松 成
事業ミッション	人口問題を解決する
設立	2007年1月
グループ事業内容	認可保育施設、多機能型施設（児童発達支援、保育所等訪問支援）の運営等
売上高	118億円（2024年3月期 連結）
従業員数	1,974人（2024年3月期 連結）
上場証券市場	東京証券取引所（グロース）（証券コード：6557）
所在地	東京都墨田区錦糸1丁目2番1号
Webページ	https://aiai-group.co.jp/

AIAI

Policy / Mission / Vision

グループの業容の拡大や社会の環境変化等を踏まえ、2024年度からグループ経営理念を改定。保育所等訪問支援サービスの展開等、「AIAI三育圏」に則った事業展開を推進し、多様な子どもたちが生まれ持った素晴らしい力を発揮できるよりよい社会の実現を目指すとともに、今後ともグループ企業の事業間シナジーを最大限に高め、社会に貢献し続けてまいります。

経営理念	社会課題を解決し、世の中に貢献する	保育理念	一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と元気が溢れた園を創造すること
行動指針	誠実であること 貢献からの利益を追求すること 自らを世界に貢献できる人間へと向上させること 目標達成への努力を惜しまず、諦めないこと	保育方針	周りの人と関係を築く 周りの人の力になれる 周りの人に応援される
社 是	関わる全ての人々に自分の存在価値を高めること	療育理念	全ての子どもが楽しく過ごせる社会をつくる
社 訓	-愛- 思いやりを持った優しき心と優しき行動を持つこと -心- 相手の立場に立って物事を考えること -絆- 一期一会の精神で出会いや絆を大切にすること	療育方針	理論と実践を集約した科学的根拠に基づく療育を提供する 保育所等に通う子どもの集団適応能力を向上させる 個別から小集団まで段階的に療育を提供する



2. ビジネスモデル

AIAI

事業の概要

AIAIグループでは、東京都、千葉県、神奈川県、大阪府で認可保育（AIAI NURSERY）と児童発達支援（AIAI PLUS）を主な業態として運営。

このエリアでは「保育」と「療育」と「教育」の3つの「育」を一体的に提供する「AIAI三育圏」を展開。

「AIAI三育圏」とは、AIAI NURSERYが提供する「保育」、AIAI PLUSが提供する「療育」、CHaiLDが提供する「教育」の3つの事業のシナジー効果を最大化させる取り組みです。

保育、療育、教育のそれぞれの事業が互いに補完し合い、より多様な子どもとその保護者へのサポートを実現します。

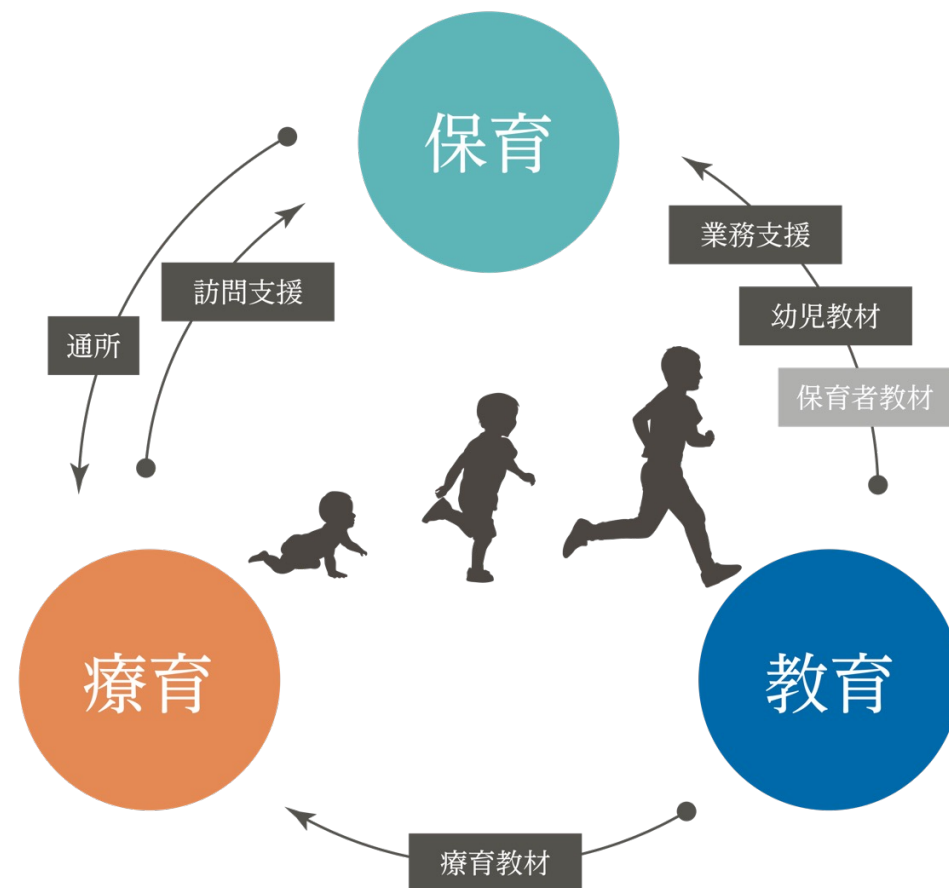
現在、全体の6～7%に当たる子どもが、発達に何らかの問題や障害を抱えているといわれています。

しかし、保育園や幼稚園には、小学校や中学校のような通級支援や特別支援学級がありません。さらに保育園児は、原則として両親が共働きです。結果として特別な保育や支援が必要な子どもたちが、適切な制度がないために不利益を受けています。

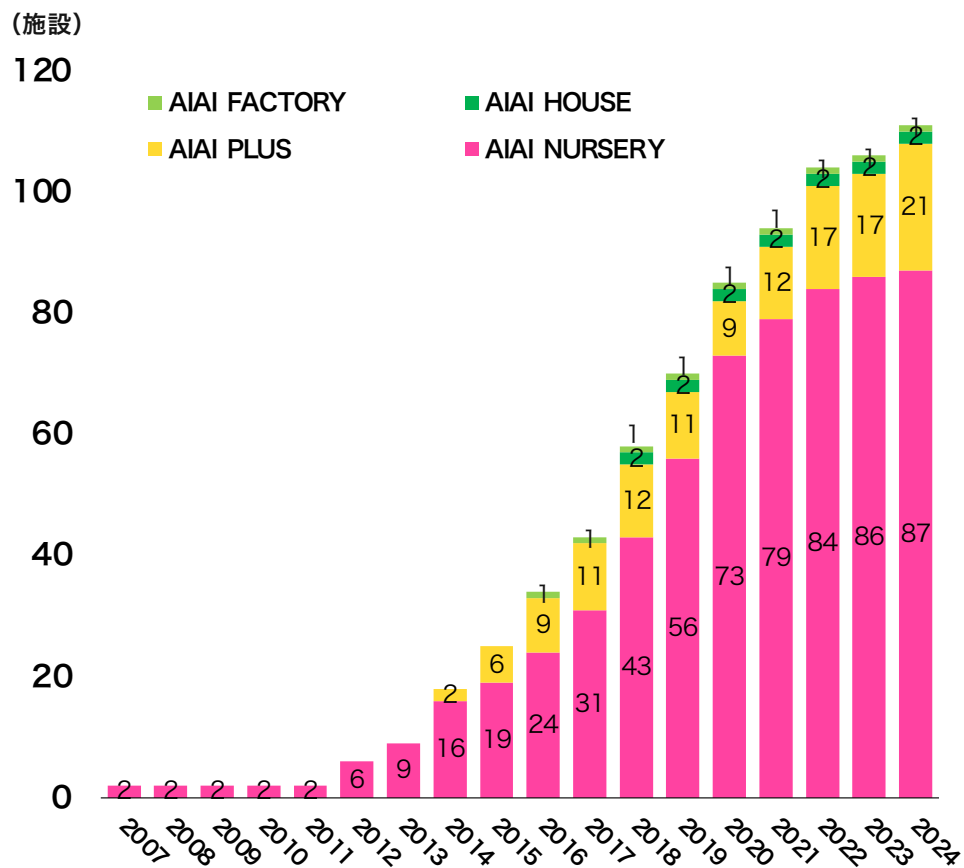
こうした制度のはざまにいる子どもたちへのサポートを補完するのが、「保育×療育」のシナジーです。グループ内の児童発達支援事業所「AIAI PLUS」と

AIAI NURSERYとのスムーズな連携によって、こうした子どもたちとその保護者に十分なサポートを提供していきます。

また、保育園では従来、小学校入学前に基礎的な学習をサポートする就学前支援がきちんとなされてきませんでした。しかし、保育園に通った子ども、幼稚園に通った子ども、同じように小学校に進みます。両親が働いていてAIAI NURSERYに通う子ども「保育×教育」のシナジーによって小学校への準備をできるようにしていきます。これらを一体的に提供し、多様な子どもたちをより強くサポートし、新しい価値を生み出していきます。

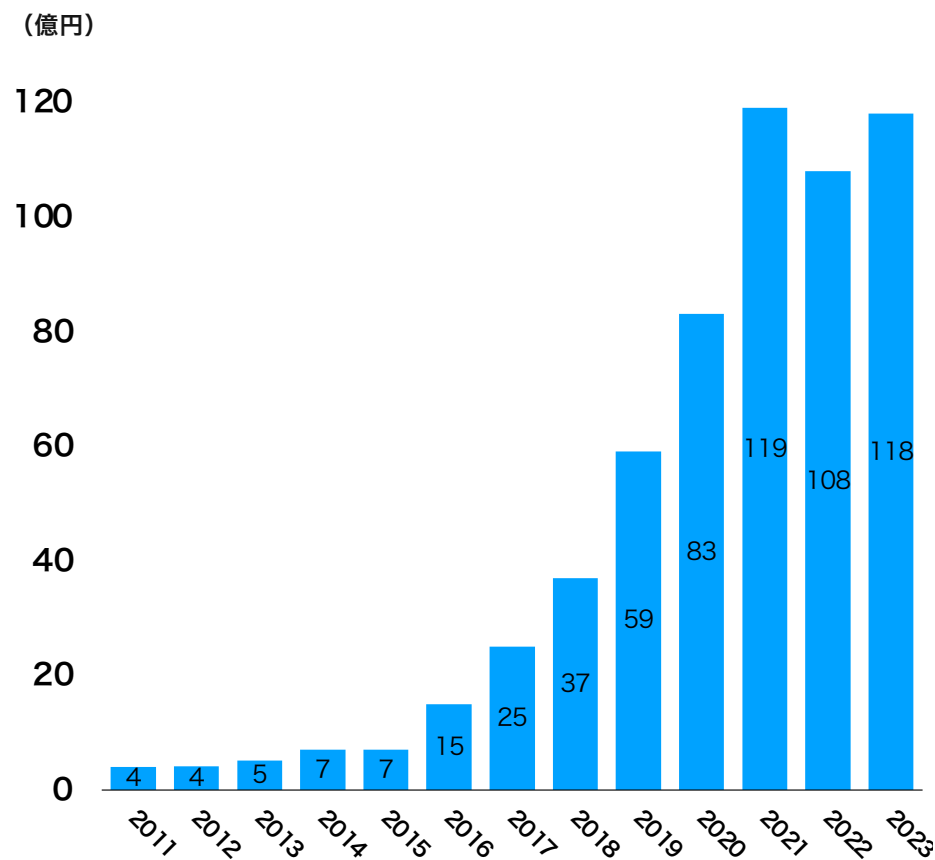


施設数



* 施設数は各年4月時点

売上高

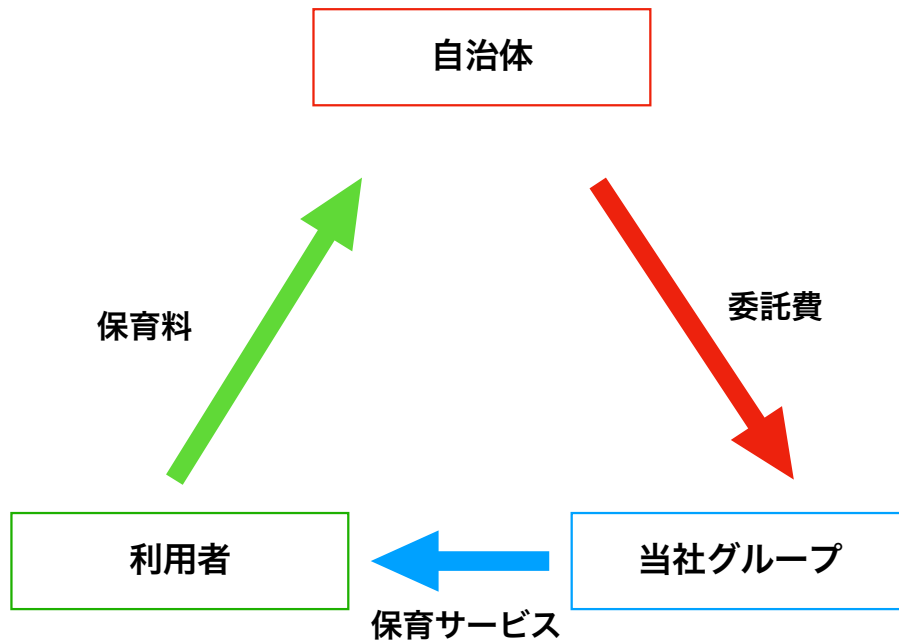


* 単位未満切捨、2021年度は15ヶ月の変則決算

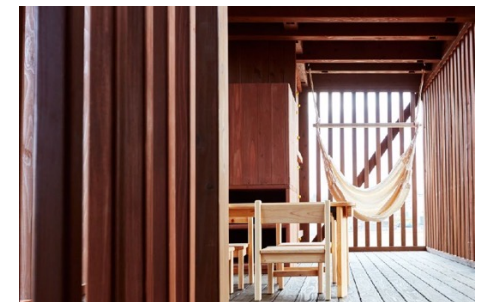
主なビジネスモデル AIAI NURSERYの概要

- ・千葉県・東京都・大阪府及び神奈川県に認可保育園を開設。
- ・就学支援に特化するために建物内に学習室を設置しているほか、大型遊具AINI、AINI BOXは子どもの基礎体力の向上を図るとともに認知度の向上に寄与。
特色ある幼児教育プログラム（知識教育、思考教育）を導入。
- ・自社システムによってペーパーレス化を推進し保育士の事務作業を削減。

<ビジネスモデル>



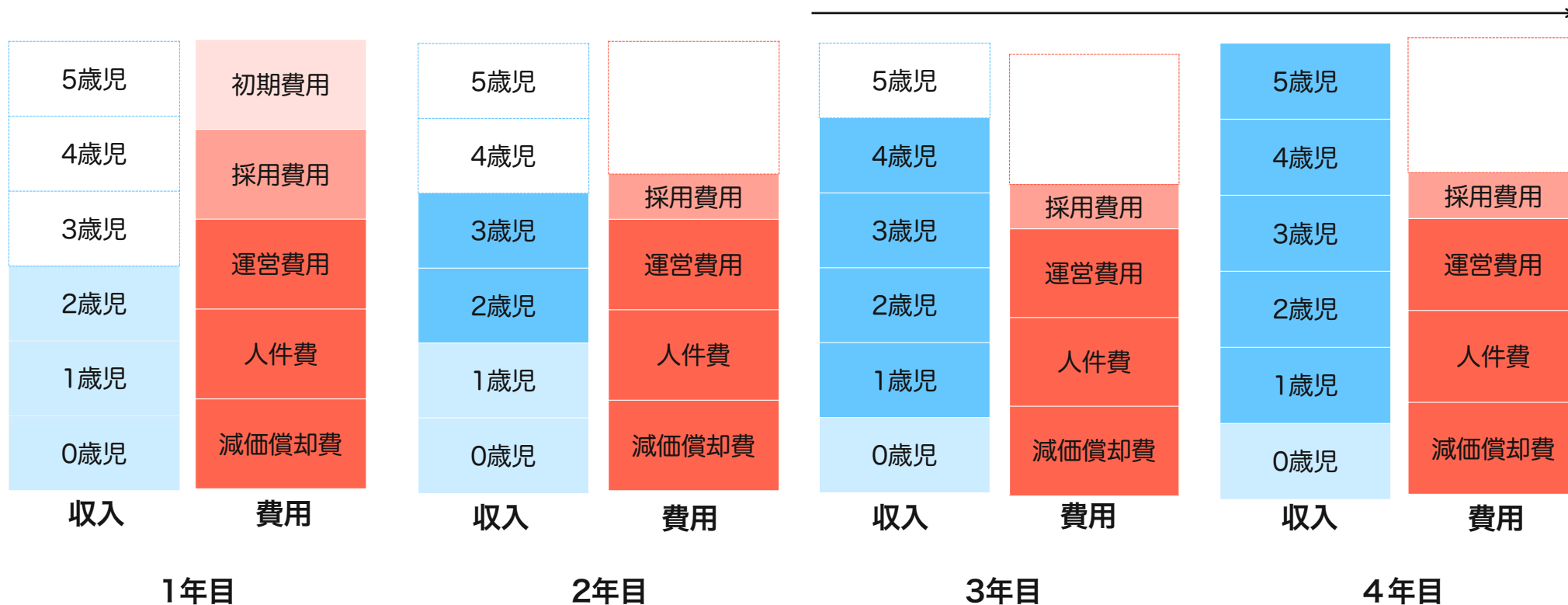
※小規模保育施設においては一部利用者直接負担が生じます。



認可保育施設の収益化までのイメージ

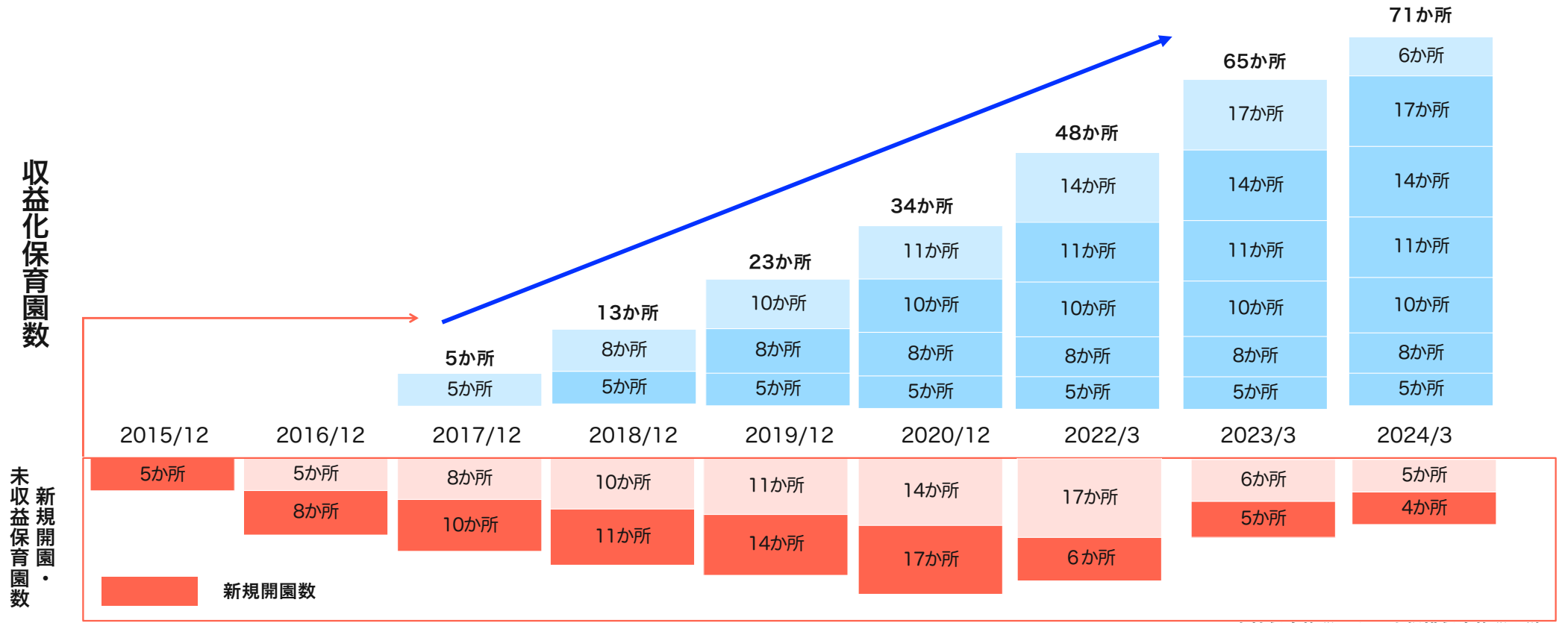
認可保育施設の開設直後は 3～5 歳児の充足率が低い一方で開設初期費用や採用費用がかかり赤字傾向となる。他方、開設後3年目以降は順次定員が充足してくるとともに初期費用や採用費が抑制されることで黒字に転換。

収益化



認可保育施設の開設後収益化モデル

認可保育施設は開設後黒字化までに3年程度を要する一方で、事業の成長に向けた積極開設により戦略的に赤字が先行。今後は新規開園ペースが落ち着いてくるとともに既存施設が収益化し安定的な黒字を維持。なお、2024年3月期新規開園数は当初計画どおり4施設を新たに開設。

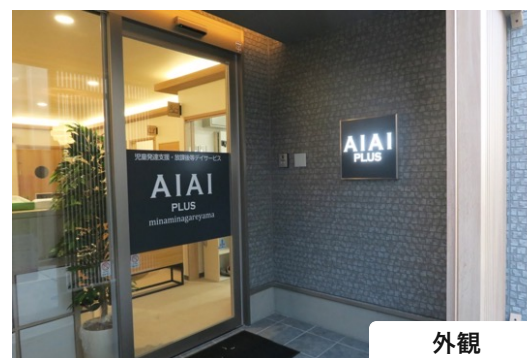
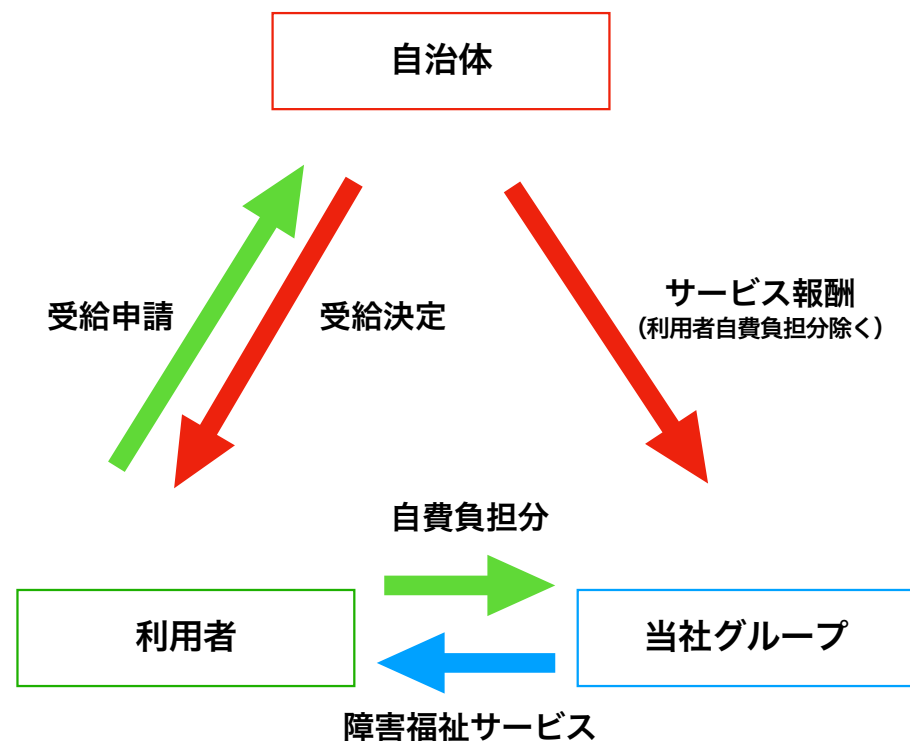


* 当社保育施設のうち小規模保育施設を除く

主なビジネスモデル AIAI PLUSの概要

- AIAI PLUSでは、集団生活に馴染めない子どもたちにプログラムを提供。
- 1回95分のコースに週2回以上取り組むことで、適切な行動をとるために感覚情報を処理したり組織化していく感覚統合を育成。
- 保育園や幼稚園への出張プログラム提供（保育所等訪問支援）も実施。

<ビジネスモデル>



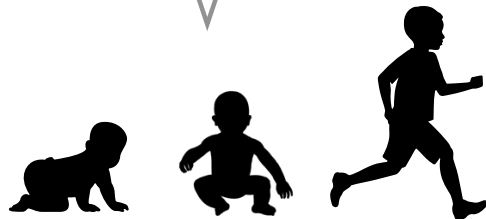
保育所等訪問支援の必要性

- ・ 保育園・幼稚園には特別学級がなく、支援員が訪問して療育を提供する必要がある
- ・ 今後拡大予定の保育所等訪問支援（AIAI VISIT）は、AIAI NURSERY以外の保育園・幼稚園を広範囲で訪問して療育を提供する

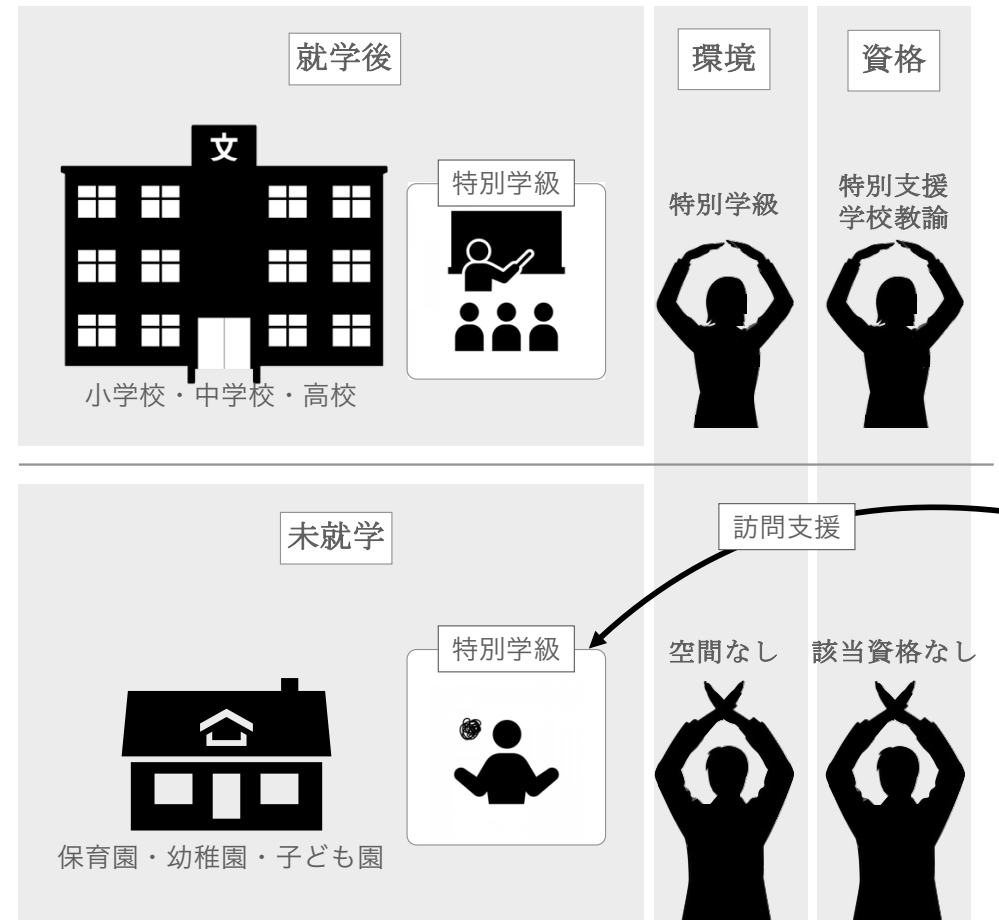
・ ほとんどの園児は乳幼児健康診査を受ける生後18ヶ月未満で入園することが一般的

・ 入園時点において保育者や保護者が園児の発達について把握できない

・ 入園後においても園内には障害児保育の経験者や作業療法士等の専門職が不在



入園



AIAI

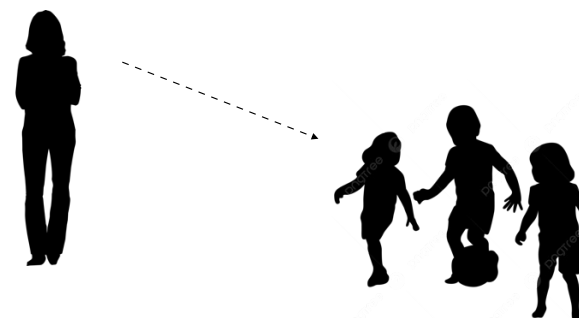
1 個別支援

支援員と園児が1on1で療育を提供するスタイル
集中的に運動と学習のトレーニングを行うため効果が表れやすい



3 間接支援

担任の保育者や園児に関わる関係者が支援対象
園児の発達的な課題や支援方法について提案・協議を行う



2 集団支援

支援員が集団の中に入って、子どもと一緒に活動する
ルールを守るなど対人スキルを確認して支援する



4 フィードバック

契約者である保護者に対して、現時点での園児の発達の課題や
療育の進捗などを共有し、訪問支援の成果を報告する



3. 市場環境

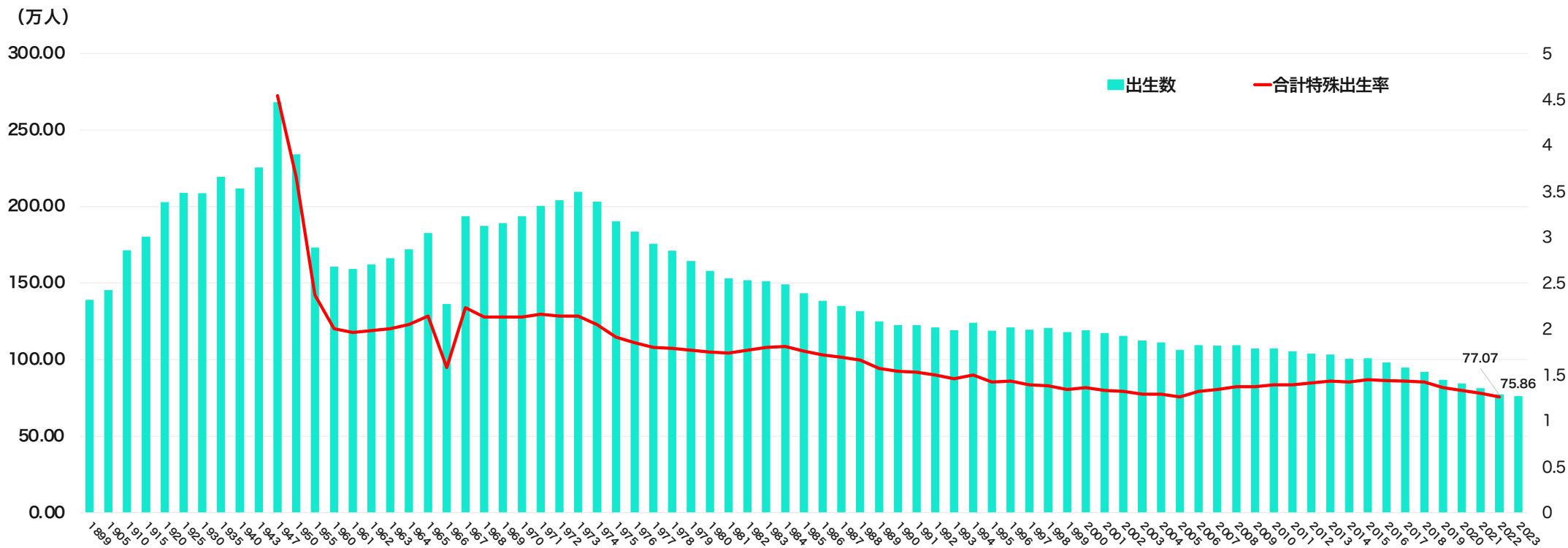
AIA

保育園を取り巻く環境（出生数の推移）

厚生労働省による2023年の出生数(速報)は75.86万人となり過去最低水準。出生数の減少傾向は継続。

国内の出生数・合計特殊出生率の推移

* 厚生労働省「令和5年版厚生労働白書」及び「人口動態統計速報(令和5年12月分)」より作成

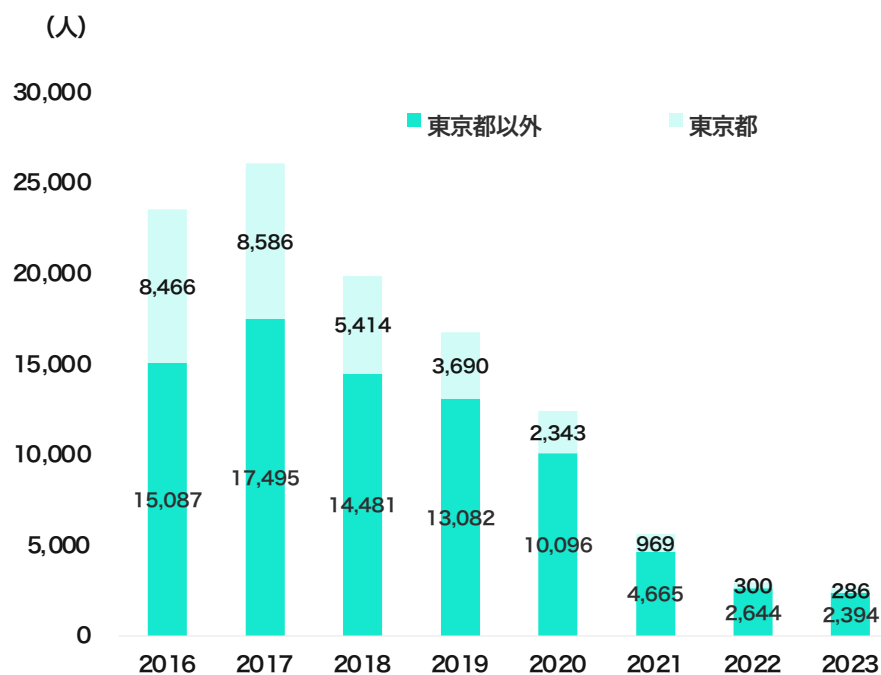


77.07

75.86

保育園を取り巻く環境（待機児童数の推移・保育・幼児教育市場規模の推移）

待機児童数の推移



* 「保育所等関連状況取りまとめ」（こども家庭庁）および「都内の保育サービスの状況について」（東京都福祉保健局）より作成

保育・幼児教育市場規模の推移



注1. 事業者売上高ベース

注2. 本調査における保育・幼児教育市場とは、①保育園市場、②学童保育市場、③ベビーシッター関連サービス市場、④アスクール市場、⑤私立幼稚園市場、⑥幼児英才教育市場、⑦幼児体育指導市場、⑧幼児・子供向け外国語教室市場、⑨幼児向け通信教育市場の9分野を対象とする。

注3. 2022年度は見込値、2023年度は予測値

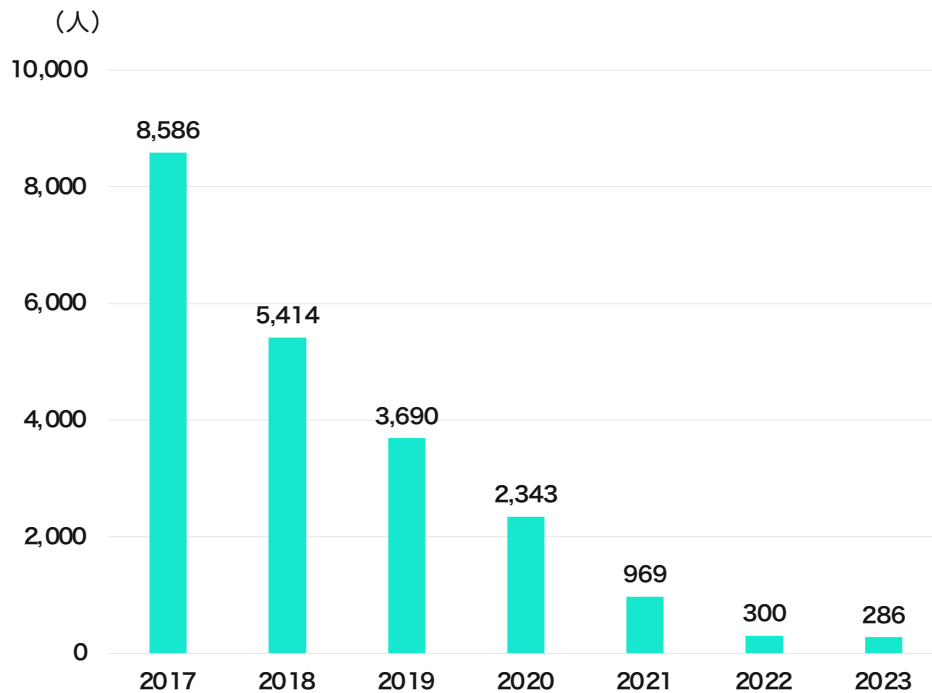
矢野経済研究所調べ

* 矢野経済研究所 2023年2月15日プレスリリースより引用
https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3194

保育園を取り巻く環境（東京都の待機児童数・新規開設施設数の推移）

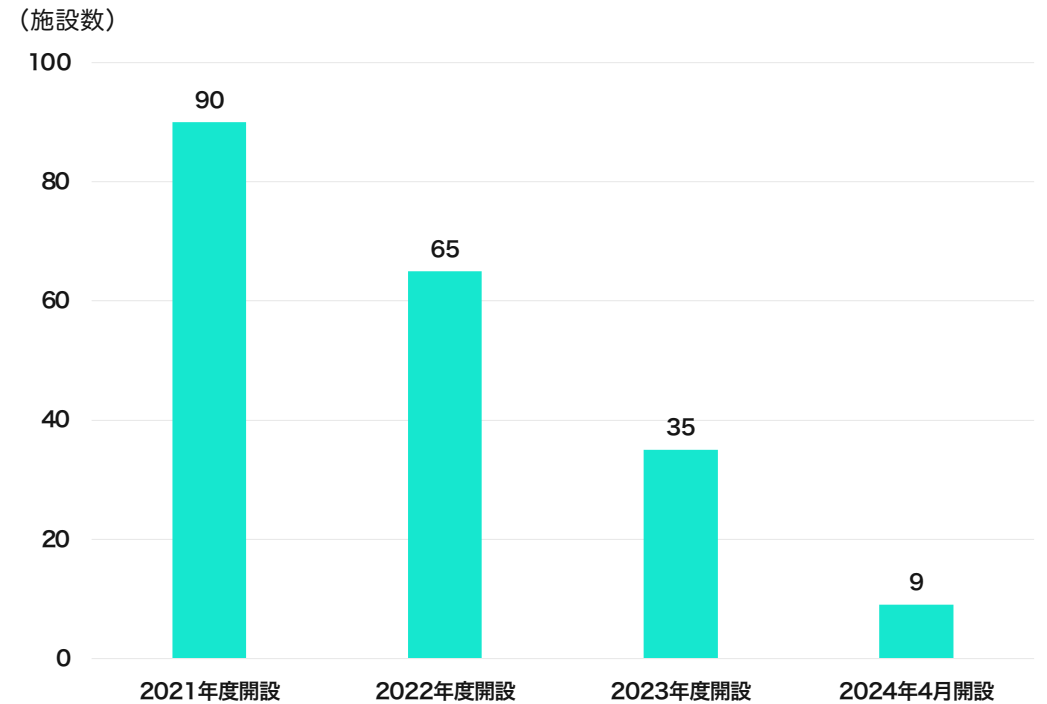
全国で最も待機児童が多かった東京都内においては、待機児童数は2023年4月には286名まで減少。
東京23区における新規開設施設数についても2021年度は90施設あったが2024年4月の開設は9施設となっている。

東京都内の待機児童数の推移



*東京都「都内の保育サービスの状況について」(2023年7月26日)

東京23区の新規開設施設数の推移

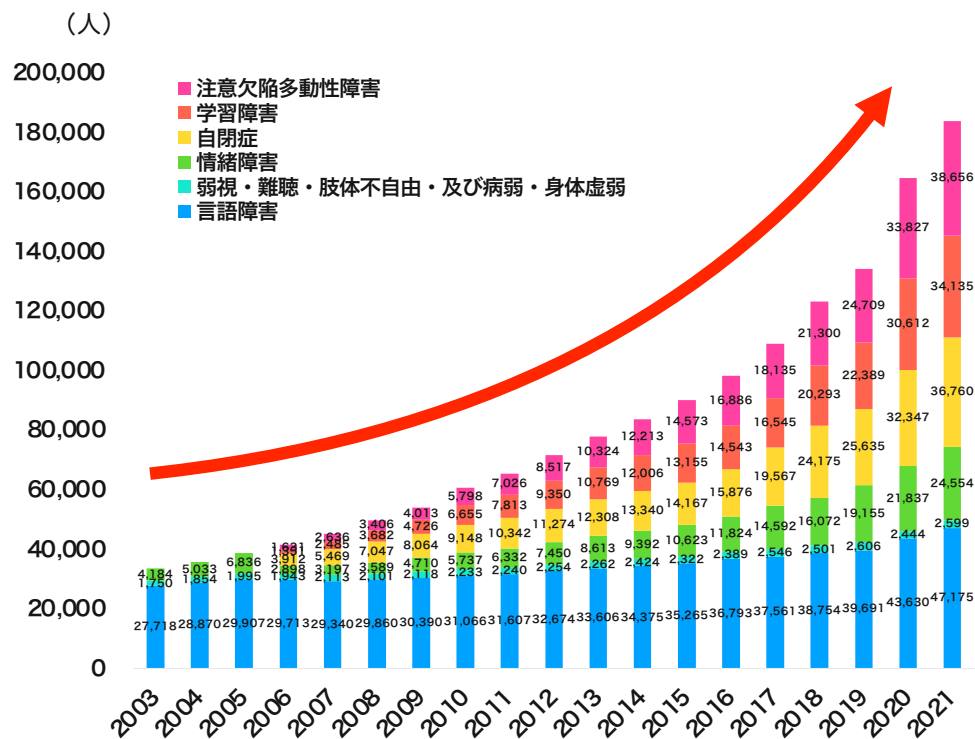


※東京都23区各自治体ホームページにおける公表情報をもとに当社調べ

保育園を取り巻く環境（障害を抱える子どもの数・障害児施設数の推移）

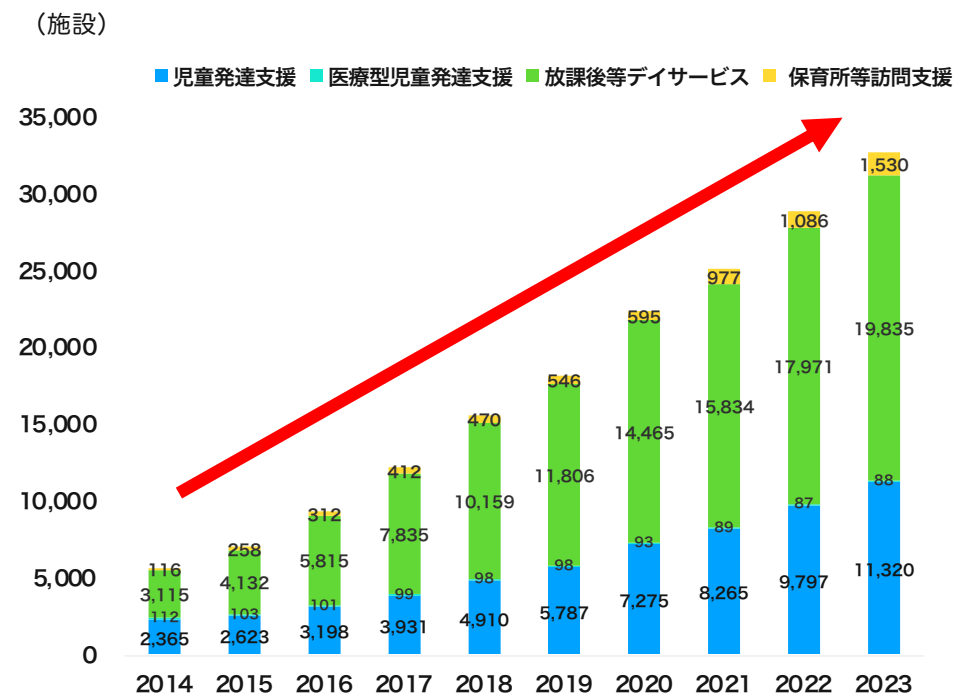
少子化の局面においても障害を抱える子どもの数は増加の一途を辿っており 2003年から2021年の間で5.46倍増加。障害児施設数も障害児数の増加に伴い増加傾向。

障害を抱える子どもの数の推移 (小・中・高校)



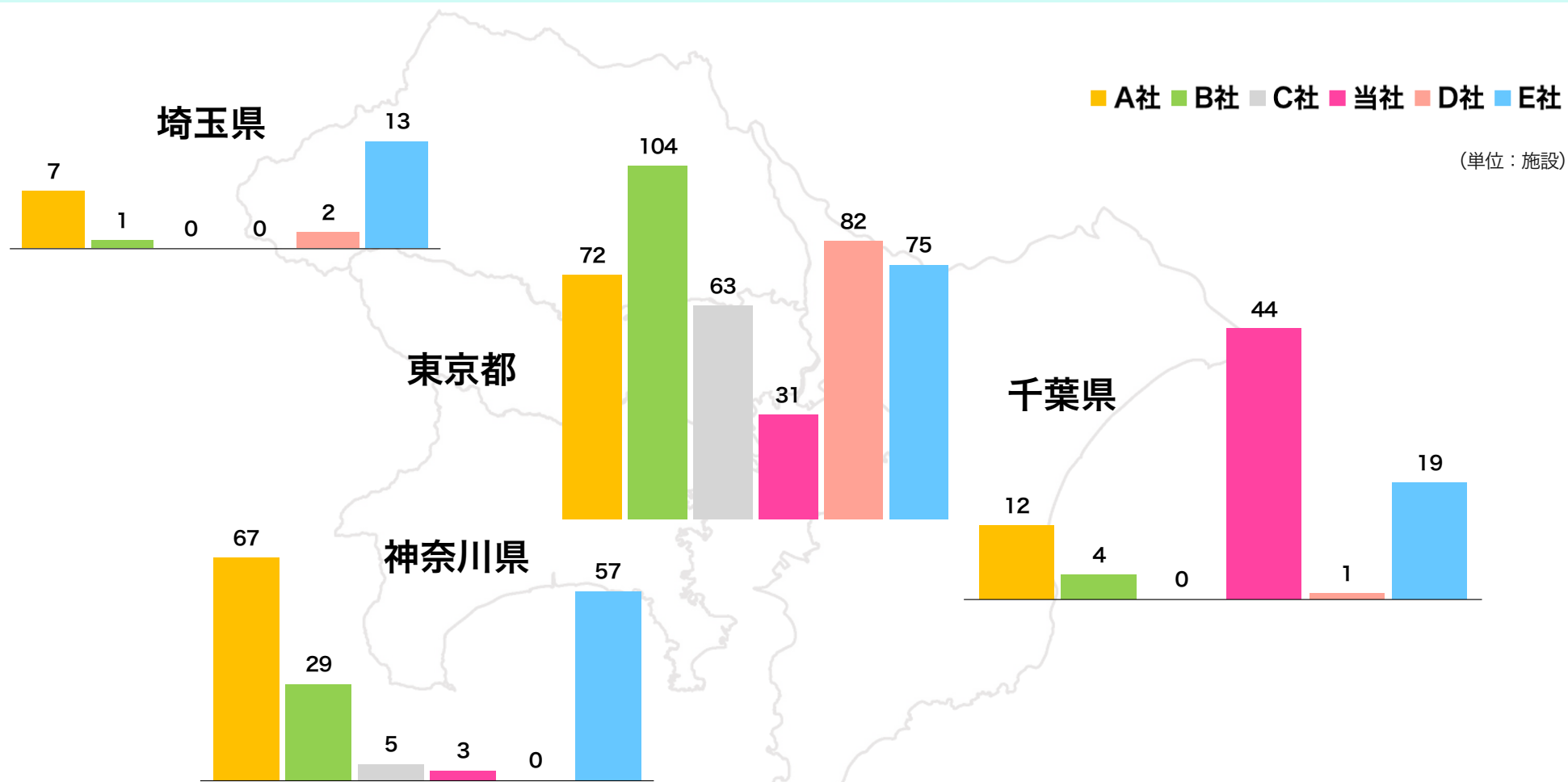
* 「特別教育支援資料（令和4年度）」（文部科学省 令和6年1月）より出典

障害児施設数の推移



* 厚生労働白書（令和5年版）より作成

首都圏における主な保育事業者の出店状況



※保育を主たる事業として首都圏に施設を展開する主な株式会社の認可保育施設数及び小規模保育施設数の合計について2024年4月時点の各社Webサイト公表値をもとに作成

日本国内の人口の見通し

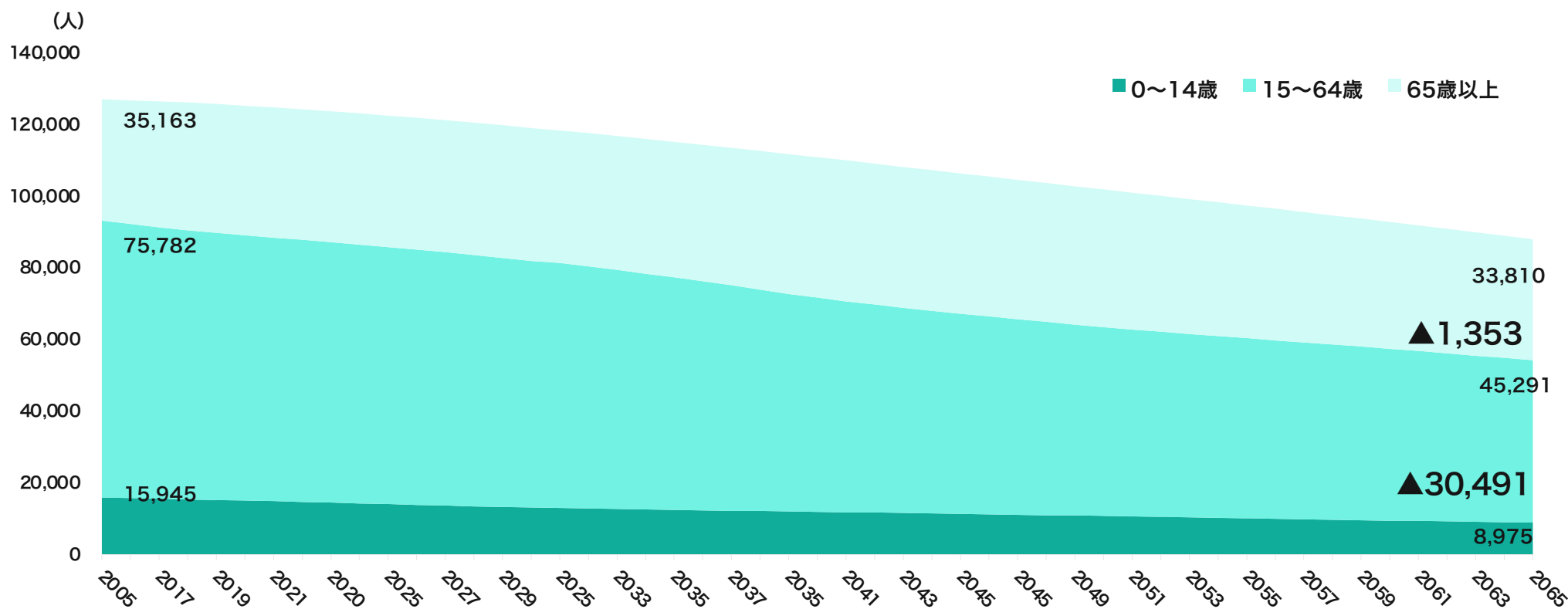
AIAI

©AIAI Group Corporation

日本の高齢者人口は2005年から2065年にかけてほぼ横ばいで推移する一方で 労働年齢人口は約4割減少の見通し。

日本の将来推計人口

* 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位・死亡中位）より作成

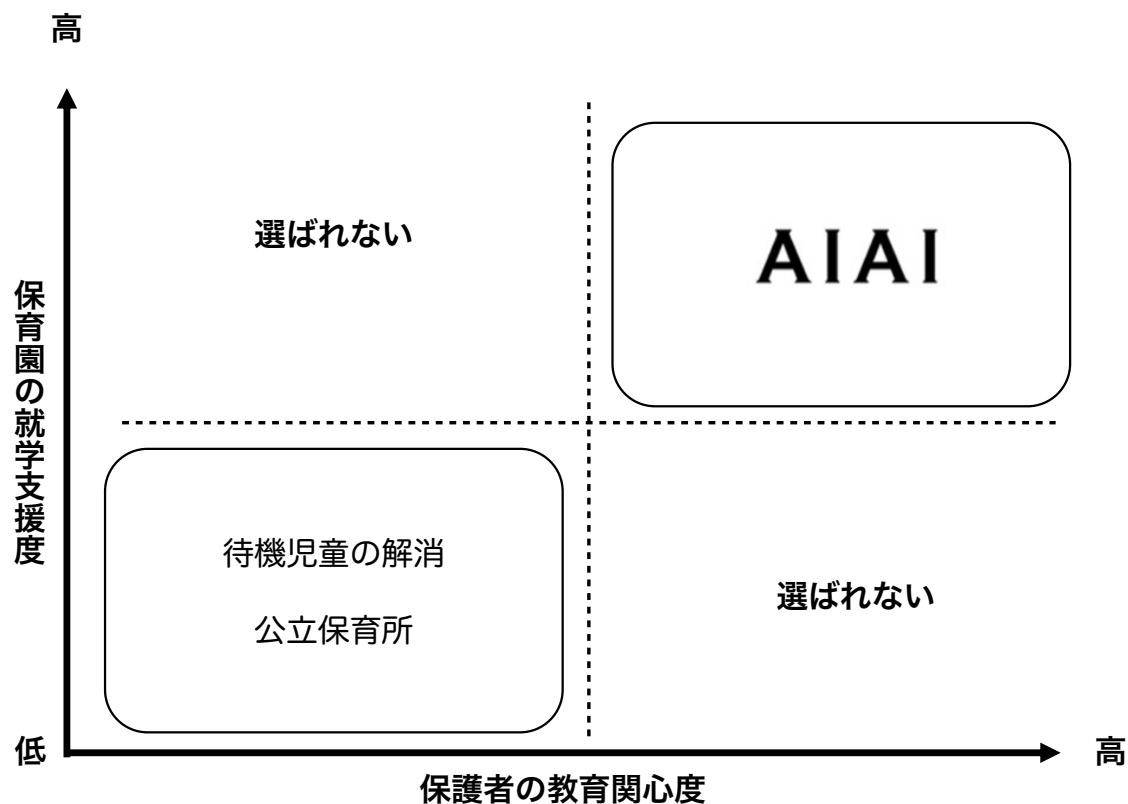


4. 競争力の源泉

AIAI

幼児教育プログラムの充実（AIAI NURSERY）

- ・ 今後、就学支援において保育事業者の二極化が進むと考えられる中、AIAIでは就学支援に特化するために学習室を設置するとともに、幼児教育プログラムを充実させ、就学支援度を向上。
- ・ 質の高い保育の提供を通じて、待機児童解消後の選ばれ続ける保育園を目指す。



AIAI NURSERY の幼児教育

知識教育



思考教育



高い園児数水準 (AIAI NURSERY)

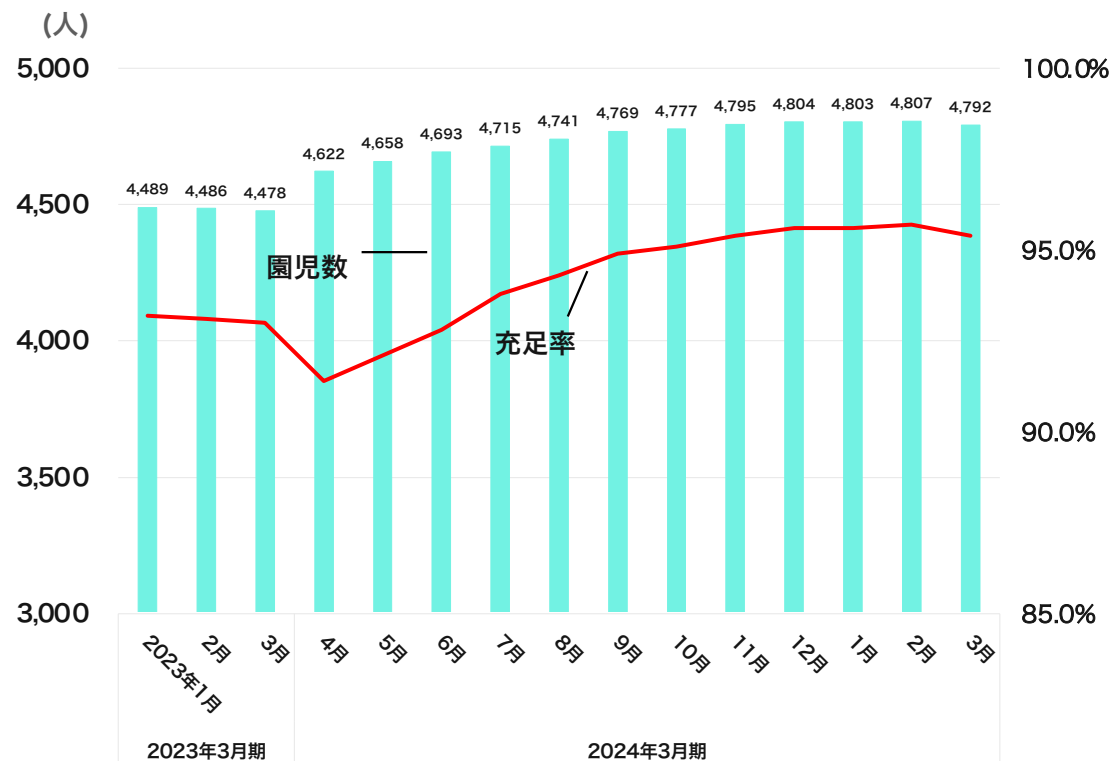
保護者ニーズも踏まえた事業運営により、待機児童がほぼ解消する中でも高い充足率と園児数水準を確保。1月～3月は転居等の季節性変動要因はあったものの、0歳児を中心に特に公定価格単価が高い低年齢児の在籍数・充足率は引き続き高水準を維持。

園児数の状況

	2024年3月 在籍数(人)	充足率
0歳児	463	102%
1歳児	875	103%
2歳児	916	99%
3歳児	919	95%
4歳児	839	89%
5歳児	780	86%
合計	4,792	95%

* 小数点以下四捨五入

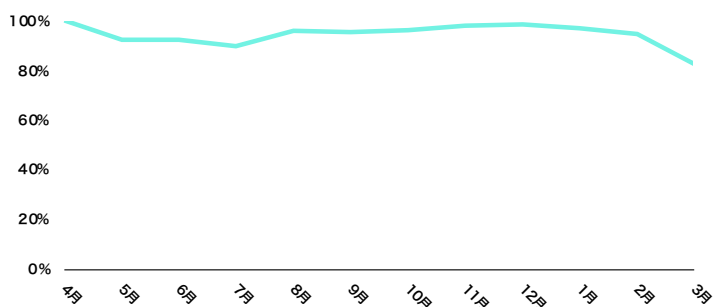
園児数及び充足率の推移



多様な子育てニーズに対応した体制（AIAI PLUS）

保育事業を展開するグループ内で、多様な子育てのニーズにも的確に応えるサービスを提供できる体制を整備。療育のプログラムの専門家による体系的な支援を受けられるAIAI PLUSは、新規開設後順調に稼働率が向上。

平均稼働率の推移



* 小数点第2位四捨五入

療育プログラム

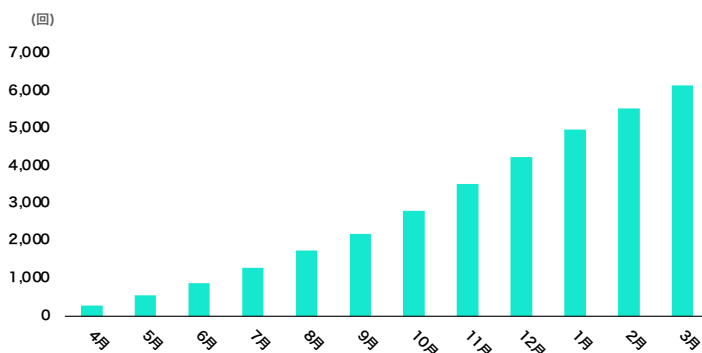


施設の収支イメージ (併設施設：3年目)

(百万円)	AIAI NURSERY	AIAI PLUS
売上高	88	44
費用	75	29
売上高総利益	13	14
売上高総利益率	15%	30%

* 千葉県内の認可保育・多機能型併設施設を想定
 * 3年目に想定の子園児数が獲得できた場合の収支モデル
 * 単位未満四捨五入

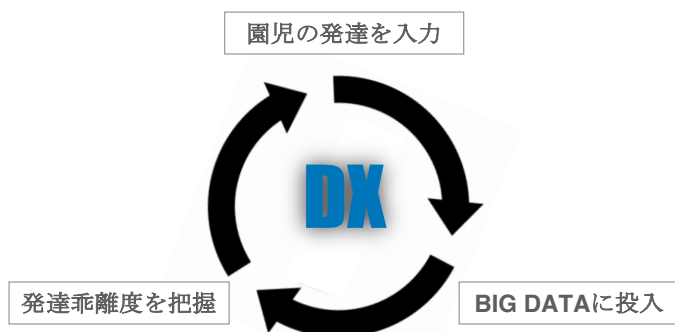
保育所等訪問支援回数の推移 (累計)



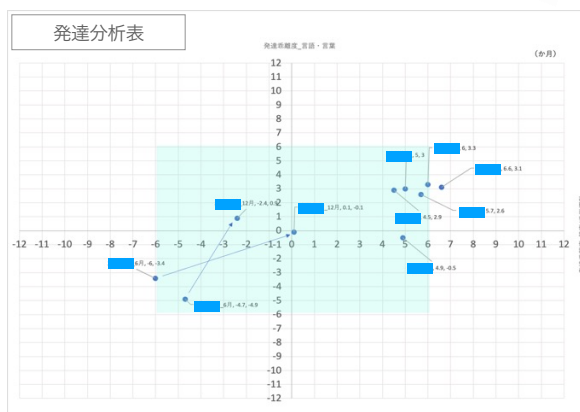
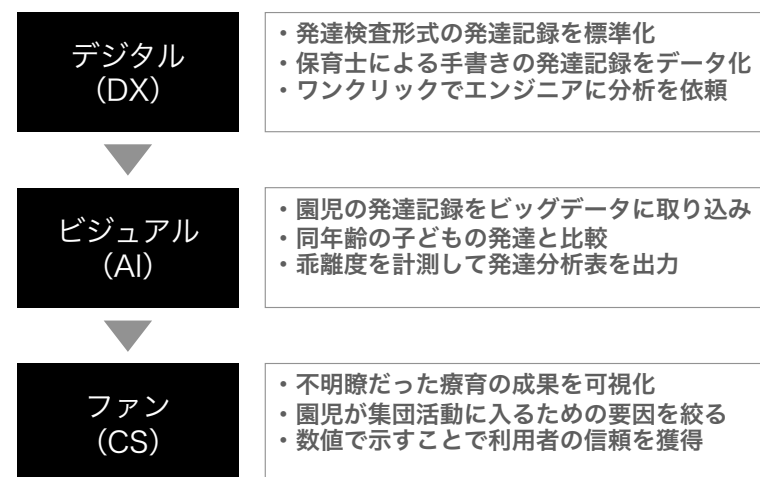
発達分析機能によるエビデンスのある療育の提供

AIAI NURSERYの全園児約5,000人の発達記録ビッグデータと照らし合わせることで当該園児の発達と同年齢の子どもの発達の乖離度を可視化。

園児の発達状況を把握して利用者と共有



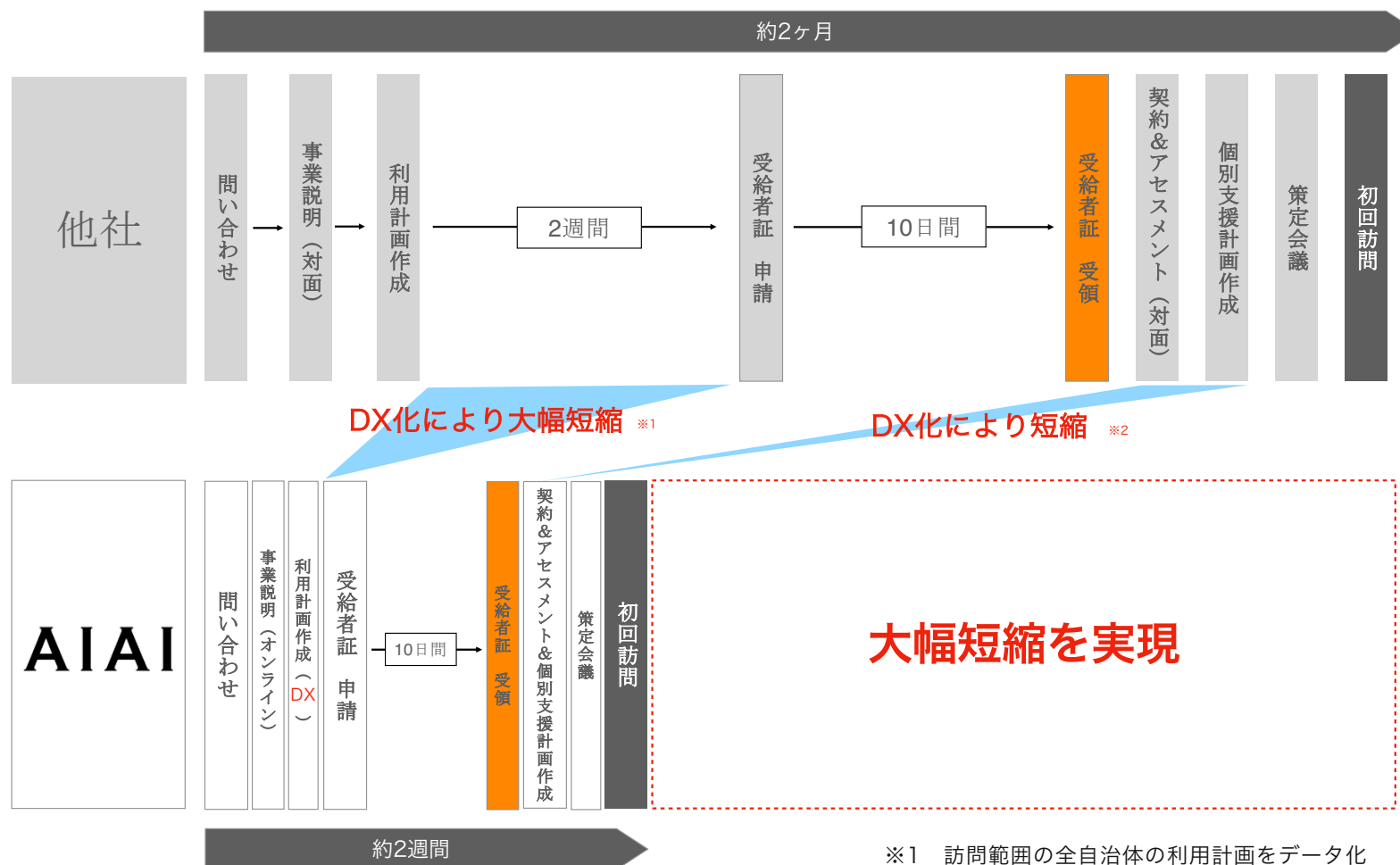
【独自技術】発達分析機能による3つのステップ



発達分析機能について

療育開始時点から現在に至るまでの間に、園児の発達状況が同年齢の子どもの発達状況に対して、どれくらい近づいたかを可視化する独自技術。
本技術により、これまで不明瞭だった療育にエビデンスが付加された。

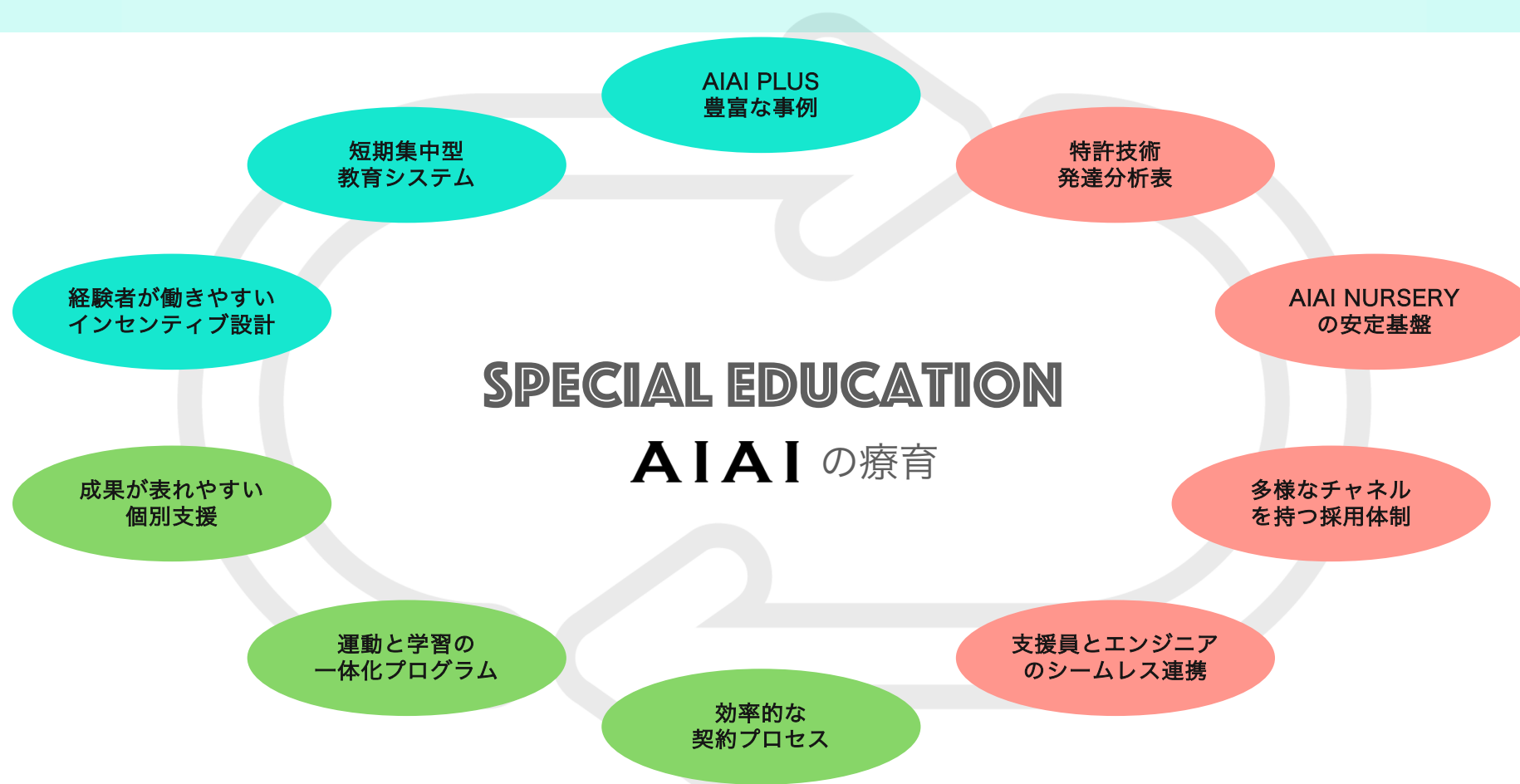
問い合わせから最短2週間後に療育を提供（保育所等訪問支援）



※1 訪問範囲の全自治体の利用計画をデータ化
※2 利用計画作成時に個別支援計画を事前作成

模倣できない独自の療育手法（保育所等訪問支援）

AIAIグループ最大の資産であるAIAI NURSERYから蓄積されたデータを活用した技術を確立。同業他社には模倣困難なサービス提供体制により優位性を発揮。

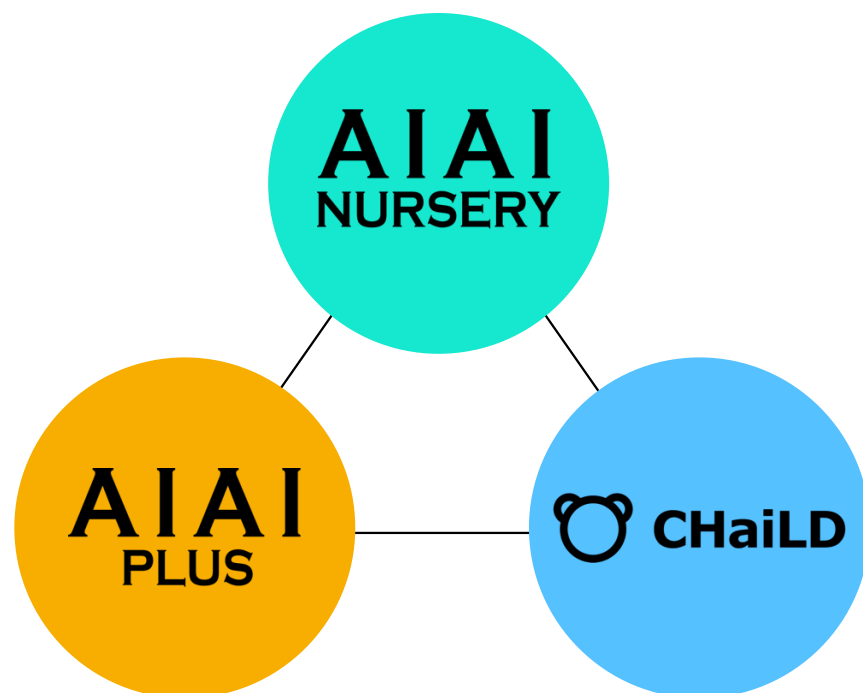


グループのシナジーを最大限に発揮した事業展開

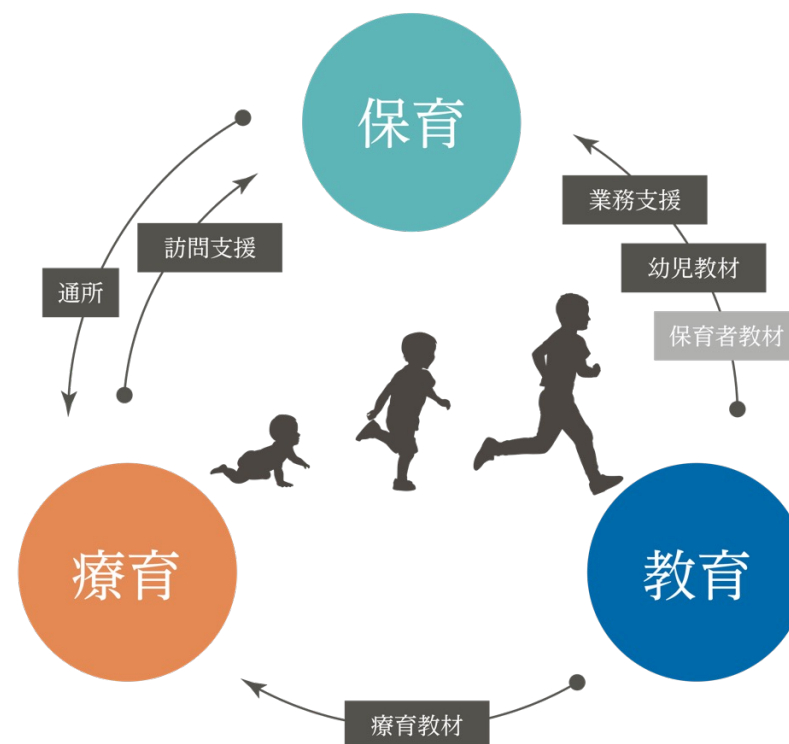
保育・療育・教育をグループとして一体的に提供し、個別最適な保育を実践することで 保護者が安心して利用できる環境を 東京都・千葉県・神奈川県・大阪府で展開。

この展開エリアで「AIAI三育圏」を掲げ、多様な子どもの成長ニーズに応えるサービス提供をさらに強化するとともに事業相互間のシナジーを一層強化し収益力の強化を図る。

AIAIグループの3つの子ども関連事業



AIAI三育圏



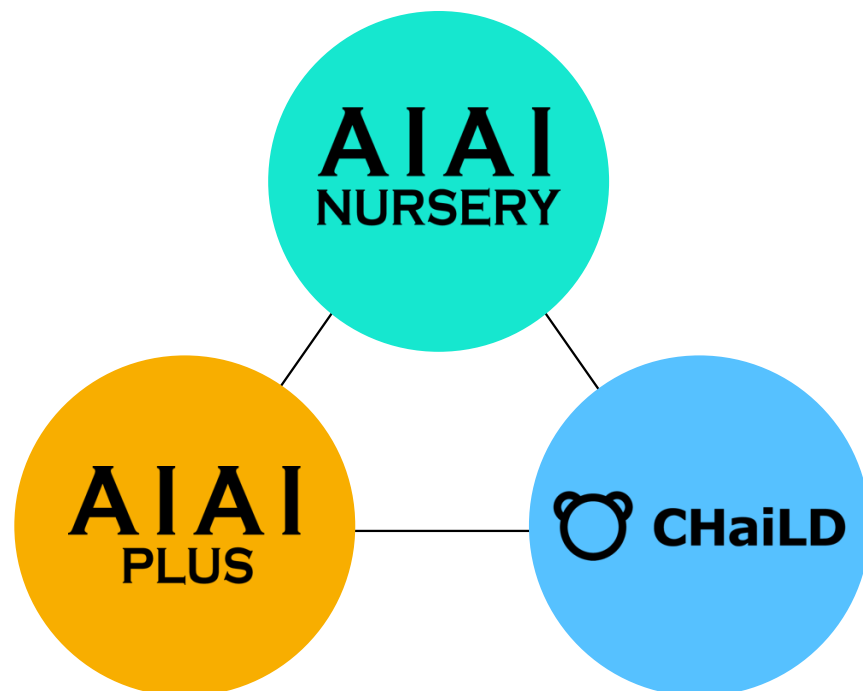
5. 事業計画 (AIAIグループ中期経営計画2023~2025)

AIAI

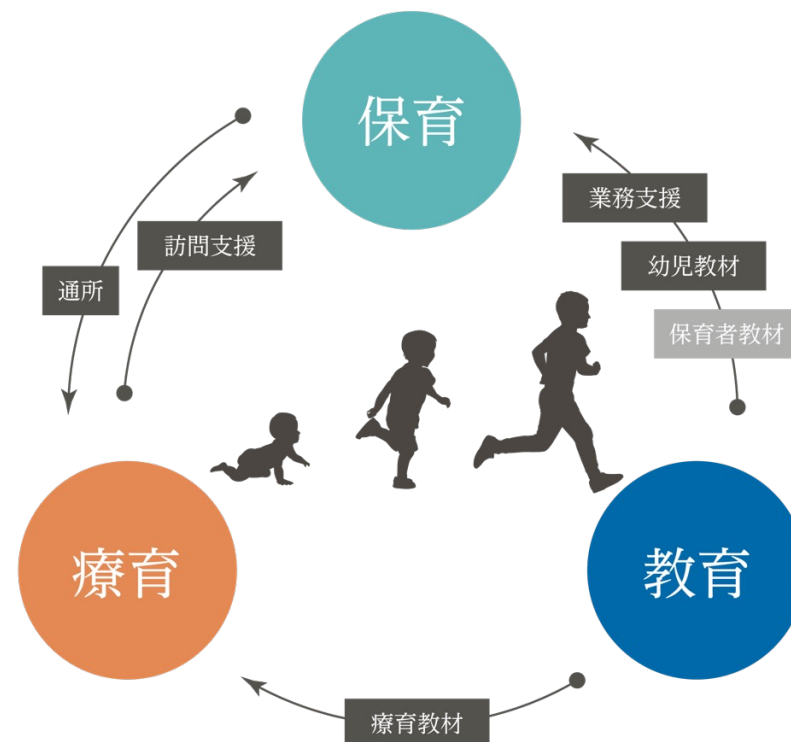
中期的に目指す姿

待機児童が解消に向かう中、近年増加している障害児への適切なケアや小学校へのスムーズな就学のサポートなど保育・療育・教育のそれぞれの事業が互いに補完し合い、より多様な子どもとその保護者へのサポートを実現する。

AIAIグループの3つの子ども関連事業



AIAI三育圏



具体的な取り組み① AIAI NURSERYの基盤維持・拡大

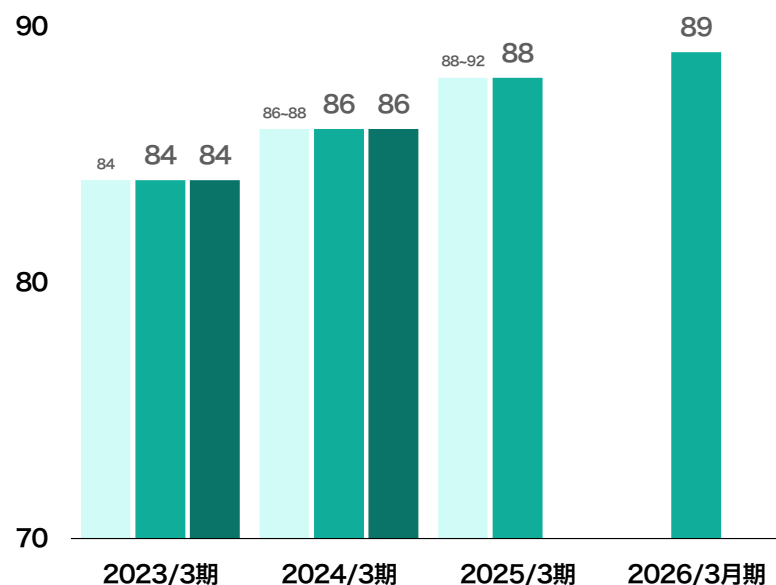
豊富なノウハウを有する認可保育分野はグループの売上・利益の基盤であり今後も高いニーズと投資対効果が
見込めるエリアに絞って出店を継続。

2024年3月期は新たに4施設を開設するとともに1施設を定員を拡大して移転した一方で、
小規模保育施設1施設を閉鎖するとともに1施設をAIAI PLUSに転換したことから、前年から+2施設の86施設。

AIAI NURSERY施設数の見通し

(施設) 高い投資対効果が見込める地域に絞り
毎年の開園を見込む

■ 前中期経営計画 ■ 当中期経営計画 ■ 実績



基本戦略

① AIAI三育圏によるインクルーシブな保育

保護者アンケートで需要の高い幼児教育プログラムの導入や、療育施設AIAI PLUSとの連携により選ばれ続ける保育園として園児数・充足率を確保する。

② 社員満足向上

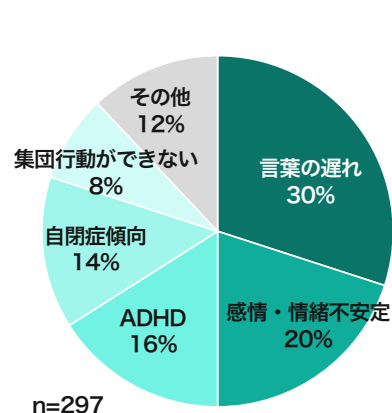
大学院との包括連携協定やライセンス制度などにより保育士の専門性を高めるカリキュラムを提供するほか、人的資本経営を重視した取り組みにより社員満足向上を図る。

具体的な取り組み② AIAI三育圏「保育×療育」分野

AIAI PLUSとの連携を強化し発達に特徴のある子どもに対して効果的なサポートを提供。
2024年3月期は新たに3施設のAIAI PLUSを開設したほか、2024年4月にはさらに1施設を開設。
今後、保育所等訪問支援サービスの強化にも取り組む。

AIAI PLUSのプログラム設計と期待効果

言葉の遅れ、感情・情緒不安定、発達障害傾向が全体の80%を占める



AIAI PLUS

学習プログラム



運動プログラム



* 国立リハビリテーションセンターが掲げる「気になる行動と気づきのポイント」も踏まえたプログラム設計

開設数の見直し

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
実績	17	20		
当中期経営計画	17	20	21	21
前中期経営計画	20	30	40	-

(施設)

基本戦略

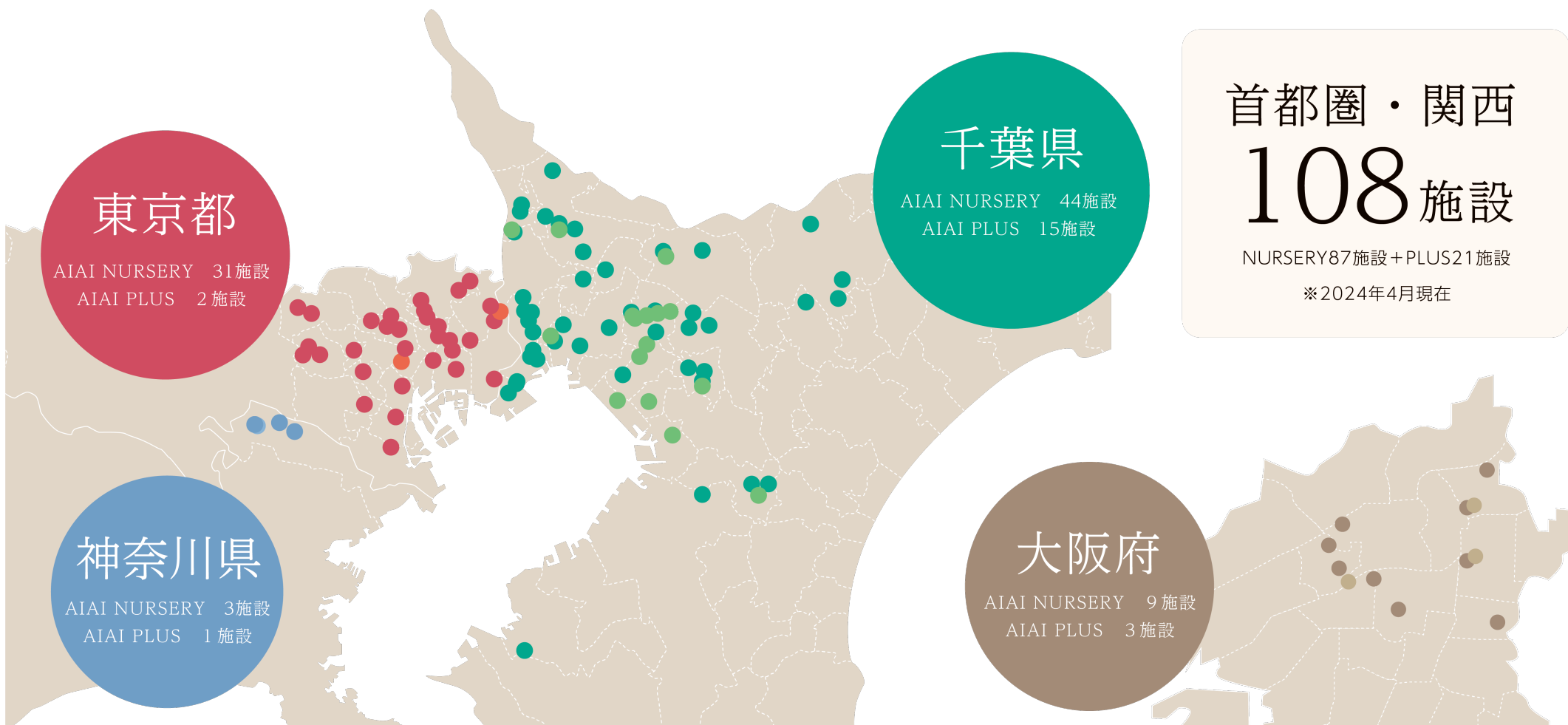
① 発達分析等を活用したAIAI NURSERYとの連携

株式会社CHaiLDが開発した発達分析機能を活用し、AIAI NURSERYでの発達に遅れがある子を可視化。AIAI PLUSの専門家による効果的なアセスメントに繋げる連携体制を構築する。

② 質の高いサービスと高い利益率を目指した出店数見直し

質の高いサービスを提供しつつ、AIAI PLUSの売上高及び利益率に大きな影響を及ぼす専門的支援加算の獲得による収益の最大化を図るため、作業療法士等の有資格者の獲得及び職員の人材育成のペースとも合わせた出店数に見直し。

(参考) AIAI NURSERYとAIAI PLUSの出店エリア(2024年4月時点)

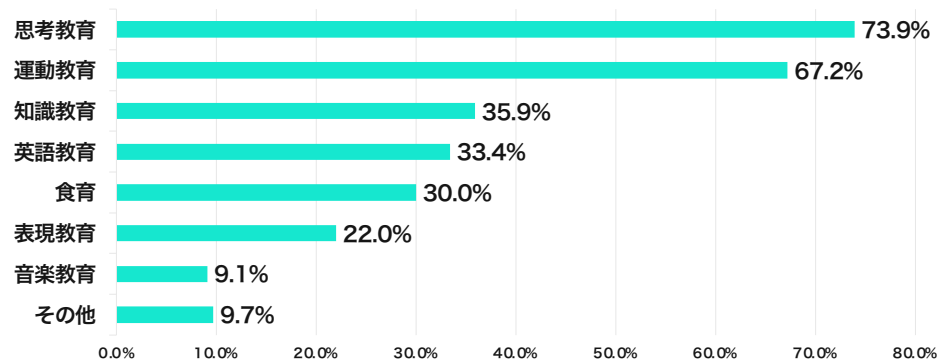


具体的な取り組み③ AIAI三育圏「保育×教育」分野

小学校へのスムーズな就学をサポートするためCHaiLDにおいて効果的な幼児教育プログラムを展開。幼児教育プログラムは、毎年実施している保護者アンケート結果をもとに、思考教育、知識教育、運動教育を保育カリキュラムに取り入れ、差別化を推進。

幼児教育プログラムの充実

グループ直営保育施設説明会参加保護者アンケート
「入園を検討する上で特に重視する保育内容」回答者の割合



特化型「学習プログラム」



モンテッソーリ教育に基づく「英語プログラム」



作業療法士が考案した運動プログラム



基本戦略

① 魅力的な幼児教育プログラムの導入

小学校入学までに必要となる知識教育（読み書き）や英語のほか、思考教育（数・量を考える力）といった発展的なプログラムも充実させ、小学校への就学サポートを強化する。

② ビジネスモデルの構築

AIAI三育圏の輪を拡大させていくため、幼児教育プログラムはグループ直営認可保育施設での導入とともに、今後の外部施設への導入も見据えたビジネスモデルの構築に取り組む。

具体的な取り組み④ コーポレート関連

財務体質の強化に向けて引き続き利益の積み増し等を進めているほか、人的資本面においては、健康経営優良法人2024の認定を受けるとともに、キャリアアップの支援を継続的に実施。

財務・資本

自己資本の充実

- ① 資産の流動化
流動化が可能な固定資産や有価証券の保有の見直し
- ② 多様な資本調達の見直し
金融機関からの借入のみならず、株式市場からの調達も含めた多様な資本調達手段を検討

株主還元の見直し

- ① 当面は事業を成長させることが株主への最大の還元との考えのもと無配当を維持
- ② 長期的には安定的な利益を創出し配当の実施も検討

人的資本

働きやすい環境整備の促進

- ① 健康経営の推進
健康経営優良法人のスコア向上を指標として従業員の健康増進をサポート
- ② 多様な働き方の実現
施設職員のライフステージにあったキャリアパスの選択、オフィスワークスタイルの見直し



人材育成

- ① キャリアアップ支援
・ライセンス制度や教育修士制度によるキャリアアップ支援
・母店制度を活用し母店施設長から一般施設長等へのマネジメントを支援
- ② 個別サポートの充実
管理者と社員との定期的な1on1ミーティングを通じて社員の抱える課題の解決や成長をサポート

AIAI Life Care株式会社の株式譲渡

2022年4月30日に株式会社QLSホールディングスとの間でAIAI Life Care株式会社の株式譲渡に向けた基本合意書を締結。

※ 詳細は2024年4月30日付「子会社等の異動（株式譲渡）に関する基本合意書締結のお知らせ」についてもあわせてご参照ください。

譲渡の理由・目的

グループの基本戦略である「AIAI三育圏」を拡大し、さらなる成長を目指すにあたり事業の選択と集中を推進。

ノンコア事業の介護分野を扱うAIAI Life Care株式会社の株式譲渡により経営資源の再配分を加速する。

スケジュール（予定）

2024年4月30日 基本合意書締結

2024年5月下旬 株式譲渡契約書締結

2024年5月31日 株式譲渡実行

AIAI Life Care株式会社の概要

(百万円)

	2020年度	2021年度*	2022年度
純資産	2	△17	△43
総資産	465	515	284
1株当たり純資産	11,710.35円	△89,311.18円	△218,162.23円
売上高	336	487	432
営業損失	△25	△36	△29
経常損失	△24	△30	△17
当期純損失	△22	△20	△25
1株当たり当期純利益	△114,435.18円	△101,021.60円	△128,851.05円
1株当たり配当額	0.00円	0.00円	0.00円

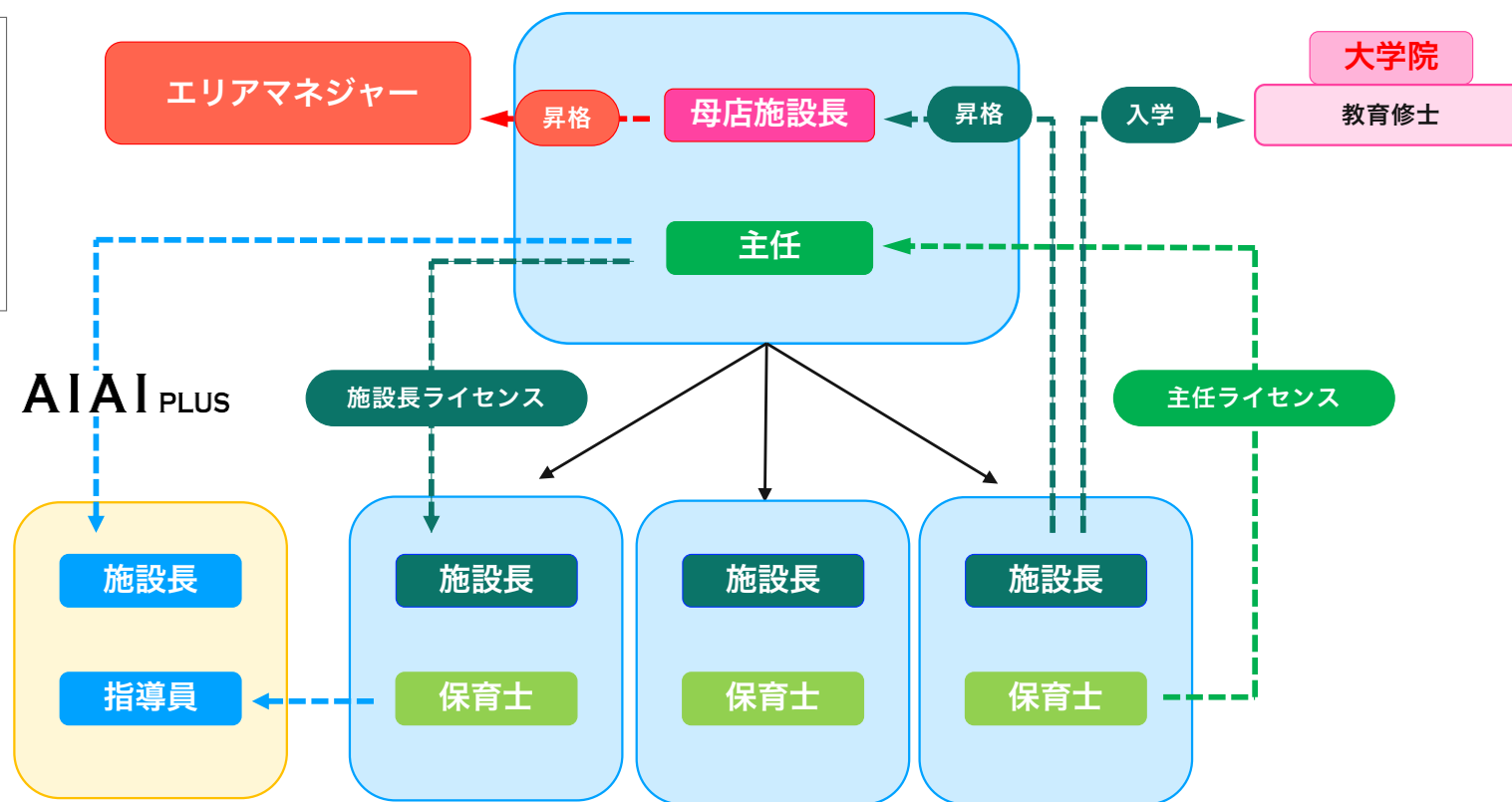
* 単位未満切捨

* 2021年度は15ヶ月の変則決算

大学院との包括連携協定による教育修士制度や自社ライセンス制度による保育士のキャリアアップをサポート。さらに、母店と連携したインスペクト（内部監査）により一般施設の人材育成と施設の品質管理をサポート。

キャリアモデル（例）

- ① 保育士 → 主任
- ① 保育士 → AIAI PLUS指導員
- ② 主任 → 施設長
- ② 主任 → AIAI PLUS施設長
- ③ 施設長 → 教育修士（大学院）
- ③ 施設長 → 母店施設長
- ④ 母店施設長 → エリアマネジャー



ライフスタイルにあわせた働き方の選択

施設で働く職員のライフステージや働き方などの志向に応じたワークスタイルの選択肢を増やし、仕事と家庭の両立をサポートすることで長く活躍できる職場環境を構築。

AIAI NURSERY

AIAI PLUS

運営時間

7:00～20:00

9:00～18:00

運営形態

集団保育

個別療育

施設あたり職員数（頭数）

約20人

約10人

年間行事

あり

なし

中期経営計画2023～2025の進捗状況（定性情報まとめ）

41

AIAI

©AIAI Group Corporation

2024年3月期の業態別の取り組み進捗のまとめは下記のとおり。

業態	内容
AIAI NURSERY	<ul style="list-style-type: none">○新規開設は計画通り2023年4月に5施設を開設（うち1施設は定員数を拡大して移転。）他方、収益性向上を図るため、2024年3月末をもって小規模保育施設を1施設閉鎖するとともに、1施設をAIAI PLUSに転換し、2024年3月末の施設数合計は86施設。○保育×教育シナジーの発揮に向けて、思考教育、知識教育、運動教育の保育カリキュラムを整備・導入。選ばれる園としての取り組みを引き続き推進し、園児数充足率は95%程度で着地。
AIAI PLUS	<ul style="list-style-type: none">○2023年度は新たに3施設を開設し2024年3月末の施設数合計は20施設。作業療法士等の資格者の採用も継続的に実施。○新たにビジネスモデルを構築することとしている保育所等訪問支援について、「AIAI VISIT」として2024年度から段階的に拡大していく予定。
AIAI MAISON / AIAI HOUSE / AIAI FACTORY	<ul style="list-style-type: none">○事業の選択と集中を加速し、介護事業を担う子会社であるAIAI Life Care株式会社の全株式について、株式会社QLSホールディングスへ譲渡するための基本合意書を2024年4月30日に締結。

目標・指標等の進捗状況（定量情報まとめ）

2024/3期について、

- ・売上高及び営業利益は、前回開示の計画から園児数が想定を上回って推移したこと等から売上高118億円、営業利益532百万円で着地。
- ・投資予定額は、2025/3期の開設施設数が当初の見通しから1施設増加したことから、計画を150百万円上回って推移。
- ・出店数は計画通り進捗した一方、保育×教育シナジーの効果もあり、利用者数は計画を上回って着地。
- ・年間保育所等訪問支援実施数は計画を大幅に上回る6,140回で着地。2025/3期以降、さらなる拡大に向けたビジネスモデルの構築に取り組む。
- ・人的資本を重視した取り組みを推進し、社内ライセンス取得者数累計は計画を上回って推移。

経営数値目標

経済的価値指標

社会的価値指標

	2024/3期 計画(23.5.19開示本資料)	2024/3期 実績	2025/3期 計画	2023.5.19公表 中期経営計画 2026/3期
売上高（連結）	113億円	118億円	121億円	120～130億円
営業利益（連結）	200百万円	532百万円	500百万円	300～500百万円
投資予定額（連結）	420百万円 *AIAI NURSERY 400百万円 *AIAI PLUS 20百万円	570百万円 *AIAI NURSERY 558百万円 (設備改修を含む) *AIAI PLUS 12百万円	280百万円 *AIAI NURSERY 280百万円 (設備改修を含む)	26/3期までの 3か年累計 680百万円 *AIAI NURSERY 660百万円 *AIAI PLUS 20百万円
出店数	8施設 *AIAI NURSERY開設 5施設* *AIAI PLUS開設 3施設	8施設 *AIAI NURSERY開設 5施設* *AIAI PLUS開設 3施設	4施設 *AIAI NURSERY開設 3施設 *AIAI PLUS開設 1施設	24/3期～26/3期の 3か年で *AIAI NURSERY開設 8施設* *AIAI PLUS開設 4施設
利用者数	4,500人程度	4,792人	4,800人～4,900人程度	4,500人～5,000人程度
年間保育所等訪問支援実施数	3,000回程度	6,140回	8,000回程度	6,000回程度
社内ライセンス取得者数累計	70人程度	77人	90人程度	26/3期までに 110人程度

ESG／SDGsの取り組み

グループビジョン「人口問題を解決する」を根幹として、持続可能な社会の実現に向けた事業を推進。財務的な価値の向上とともに非財務価値の向上の取り組みにも引き続き注力。

創出価値・目指す姿	貢献するSDGsのゴール	取り組み例
福祉・教育の充実 質の高い保育の提供 - 療育体制の充実 - 小学校就学を見据えた教育の充実 等	   	<ul style="list-style-type: none"> ・ AIAI NURSERYとAIAI PLUSとの連携 ・ 幼児教育プログラムの充実・展開 ・ AIAIレポートを通じた家庭との緊密な連携
共創社会の実現 地域の保育ニーズへの貢献	   	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズに対応した保育施設の展開 ・ 地域と連携した子育て支援（保育所等訪問支援） ・ 雇用促進
新たな価値の共創	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他社との協業の推進 ・ あらゆるステークホルダーとの連携の強化
人的資本 人の育成	  	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内研修体制の充実 ・ ライセンス制度によるキャリア形成支援 ・ 社外プロジェクトへの参加
人的資本 女性活躍推進／多様な働き方の実現	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスタイルに応じた働き方の整備 ・ 女性リーダーの継続的育成
人的資本 働きやすい職場環境	  	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、育児、介護と両立して働きやすい環境整備 ・ 労働安全衛生・労働マネジメントの推進強化 ・ 健康経営の推進
地球環境の保全 環境負荷の低減	   	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷の低い施設 ・ ペーパーレスな業務体制 ・ 食品ロス・廃棄物削減
ガバナンス コーポレートガバナンスの強化	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内監査制度（インスペクト）の充実 ・ 上場後3年を経過しJ-SOXへの対応のさらなる強化

第6回・第7回・第8回新株予約権の資金使途の状況

第6回・第7回新株予約権で調達した資金については計画通りAIAI NURSERY新規開設資金に充当済。

第8回新株予約権による調達資金は未充当。

※ 詳細は2022年6月15日付「第三者割当による第6回新株予約権、第7回新株予約権及び第8回新株予約権(固定行使価額型)の発行に関するお知らせ」及び2023年5月19日付「資金使途の変更に関するお知らせ」についてもあわせてご参照ください。

第6回・第7回・第8回新株予約権の調達額

種類	調達金額	うち調達済金額
第6回新株予約権	51百万円	51百万円
第7回新株予約権	180百万円	180百万円
第8回新株予約権	270百万円	3百万円
合 計	501百万円	234百万円

資金使途の内容

	第6回新株予約権	第7回新株予約権	第8回新株予約権					
使途	AIAI NURSERY新規開設	AIAI NURSERY新規開設	AIAI NURSERY新規開設					
変更 金額 後	51百万円 内訳) 施設建築費 51百万円	180百万円 内訳) 施設建築費 180百万円	270百万円 内訳) 施設建築費 176百万円 開園準備費 94百万円					
支出予定時期	2023.5~2024.3	2023.6~2024.3	施設建築費 2024.6~2025.3 開園準備費 2024.8~2025.3					
施設数 (見通し)	(施設)					施設数 (実績)		
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
AIAI PLUS	12	17	20	21	21	12	17	20
AIAI NURSERY	71	76	80	82	83	71	76	80

・ 施設数の見通しについて、2023年5月19日付「資金使途の変更に関するお知らせ」から変更はありません。

2025年3月期 業績予想

AIAI

2025年3月期業績予想

2025年3月期は、AIAI NURSERY 3施設を新規開設して売上高及び利益規模の伸長を図る一方で、AIAI NURSERYの前期比での新規開設施設数の減少及び保育所等訪問支援サービスの拡大に向けた費用も見込み、売上高12,100百万円、営業利益500百万円、経常利益600百万円、当期純利益400百万円の見通し。

	2025年3月期	
	予想	売上比
売上高	12,100	100%
営業利益	500	4%
経常利益	600	5%
当期純利益	400	3%

* 単位未満切捨、小数点以下四捨五入

(参考) 認可保育施設の収益構造

認可保育施設の運営にかかる補助金は売上高に計上される一方で施設開設にかかる補助金は営業外収入に計上。施設開設にかかる補助金収入が施設開設準備にかかる費用を上回ることが多いため一般的に認可保育施設の新規開設数が増加すると営業外収支が改善する傾向。

			計上科目
収入	委託費・運営補助金	園児や保育士に関する補助金、施設の賃借に関する補助金等	売上高
	施設開設にかかる補助金	新規開設の投資額に対する一定割合の補助金	営業外収入
費用	運営にかかる費用	保育園の運営にかかる人件費や物件費	営業費用
	施設開設準備にかかる費用	当社グループでは新規開設のための支出のうち費用処理したものは営業外費用に計上	営業外費用

2024年3月期 連結決算の概況

AIAI

業績の概要（損益計算書）

- 売上高について、認可保育施設の園児数が年度末にかけて想定を上回って推移したほか、園児数の増加及び運営委託補助金の年度末調整等により当初予想及び2023年11月修正予想を上回って着地。
- 営業利益について、前年度第2四半期以降の職員配置の適正化とともに新たな採用も慎重に行なったことにより2023年11月に予想の修正を行なったことに加え、上記売上高の増加の影響もあり532百万円で着地。
- 経常利益について、新規開園数が1施設増加したことにより施設開設補助金が上回ったことから、2023年11月に予想の修正を行なったことに加え、上記営業利益の増加もあり875百万円で着地。
- 当期純利益について、営業利益及び経常利益増加の一方で特別損失の計上等も踏まえ2023年11月予想時点では据え置いていたものの、2024年4月修正予想において売上高、営業利益、経常利益の上方修正を行なうとともに特別損失の計上や実効税率の改善等もあり、353百万円で着地。

(百万円)	当初予想 (2023.5.11公表)	修正予想① (2023.11.2公表)	修正予想② (2024.4.30公表)	2024年3月期	
				実績	売上比
売上高	11,300	11,300	11,800	11,818	100.0%
売上総利益	非開示	非開示	非開示	1,735	14.7%
営業利益	200	350	530	532	4.5%
経常利益	350	700	870	875	7.4%
当期純利益	200	200	350	353	3.0%

- 単位未満切捨、小数点第2位四捨五入
- 今回のアップデートは2025年5月頃を予定しています

AIAI NURSERY 5施設



AIAI NURSERY 西荻北



AIAI NURSERY 富士見台



AIAI NURSERY 柏たなか



AIAI NURSERY 向ヶ丘遊園



AIAI NURSERY 新百合ヶ丘

AIAI PLUS 3施設



AIAI PLUS 八千代緑が丘駅



AIAI PLUS 稲毛駅東口



AIAI PLUS 阿波座

6. リスク情報

AIAI

主要なリスク及び対応策

分類	リスクの内容	顕在化の可能性 ／時期	顕在化した場合 の影響度	対応策
利用者の減少	<p>保育事業及び介護事業は、国内の居住者を対象とした事業であるため、国内の人口や社会構造、家族形態、労働需給、ライフスタイルの変化等に伴い利用者の増減が生ずる事業です。</p> <p>今後、国内においては少子化及び人口減少が見込まれますが、都市部については地方からの人口流入が継続し、保育及び介護のニーズは高い水準が継続すると見込まれることから、当社グループの保育事業及び介護事業は東京都23区、千葉県内、大阪市内に集中して施設展開をしております。</p> <p>しかしながら、今後施設展開をしている地域において、想定していない大きな人口減少や社会構造の変化等が生じた場合は、施設利用者が減少し、業績に影響を与える可能性があります。</p>	中 / 長期	中	ブランド力の向上を図るとともに提供プログラムやサービスの充実化によって差別化に取り組み、利用者には選ばれる施設の展開を図って参ります。
国や自治体による方針の変更や関連法規制等の改定等	<p>今後、国や自治体の方針に変化が生じ、補助金の削減や制度の廃止等、株式会社による認可保育園の開設ならびに既存の公立保育所の民営化が推進されなくなった場合、当社グループにおける保育事業の拡大が止まり、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。</p> <p>また、介護事業は介護保険法などをはじめとする各種関連法令改定によって影響を受ける事業であり、介護保険制度は定期的な見直し改定が行われております。今後、介護保険制度の改定により報酬引き下げ等の事象が発生した場合、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。</p>	中 / 中期	小	<p>政府の政策動向を見極めるとともに、認可保育園以外の事業の柱を育成し、持続的な成長に努めます。</p> <p>また、介護施設の運営方法等を不断に見直し、高品質なサービスを提供しつつ利益を生み出せるよう努めます。</p>
人材の確保及び育成	<p>当社グループでは、新規施設の増加に伴い、保育士、児童指導員や介護福祉士などの資格や要件を満たした人材の確保と育成が必要となっております。そのため、当社グループでは、採用担当の人員を増員し、幅広い採用活動を行いながらキャリアプランに沿った研修を年度を通して行い、人材の育成に取り組んでおります。しかしながら、その採用と育成が施設開設の速度に対応できない場合には、開設計画に遅れが生じ、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。</p>	中 / 中期	小	計画的な人材の採用と育成に努めるとともに、優秀な人材を確保できるよう、働きやすい環境の整備に努めます。
保育市場の縮小	<p>テック事業においては、主に保育事業者を対象とした保育園運営管理システムの販売等を行っております。したがって、保育市場が縮小した場合は、当該システムの需要が減退し売上高が減少するなどして、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。</p>	大 / 短～中期	小	従来テックに配置していたリソースの再配置を進めるとともに、保育ICTプロダクト以外の新サービスの提供による売上高の維持・向上に努めます。

*上記以外のリスクは有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

■免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。

■開示時期

本資料の次回のアップデートは、2025年5月頃を予定しています。